プリンタドライバ活用ガイド

＜活用編＞

N5300／N5100／N5Ⅱ／N5／N4−614／N4−612

対応プリンタドライババージョン：Ver. 6. 04～

カシオ計算機株式会社

■■■　目次　■■■

■はじめに

CASIO SPEEDIAシリーズは、本プリンタの能力を最大限に発揮するプリンタドライバを用意しております。
本プリンタドライバを使用することにより、プリンタに最適な制御コマンドを高速に生成して、速く、きれいな印刷を行うことができます。

●本ガイドは、下記プリンタドライバを対象としています。
CASIO SPEEDIA N5300、CASIO SPEEDIA N5100、CASIO SPEEDIA N5Ⅱ、
CASIO SPEEDIA N5、CASIO SPEEDIA N4-614、CASIO SPEEDIA N4-612 v5

●プリンタドライバの基本的な使用方法
プリンタドライバには、非常にたくさんの設定項目がありますが、【基本設定】以外の設定は、通常必要ありません。特に必要な場合のみ設定してください。
①各プリンタドライバの設定用ダイアログ（ドキュメントプロパティ）を開きます。
②【基本設定】のタブをクリックして、【基本設定】シートを開きます。
③書式リスト表示のアイコンの中から印刷内容に応じた書式を選択（クリック）します。
④必要があれば、その他のタブをクリックして各シートの設定を行います。
※その他のシートは、通常設定する必要はありません。ＯＨＰシートを使いたい、拡大／縮小して任意の用紙に印刷したい、マルチページ印刷をしたい等の場合に設定を変更します。→本書をご覧ください。
⑤【ＯＫ】ボタンを押します。
⑥印刷を行います。

●プリンタドライバは下記環境で使用することができます。
・Windows95/98/Me
・WindowsNT4.0、Windows2000、WindowsXP

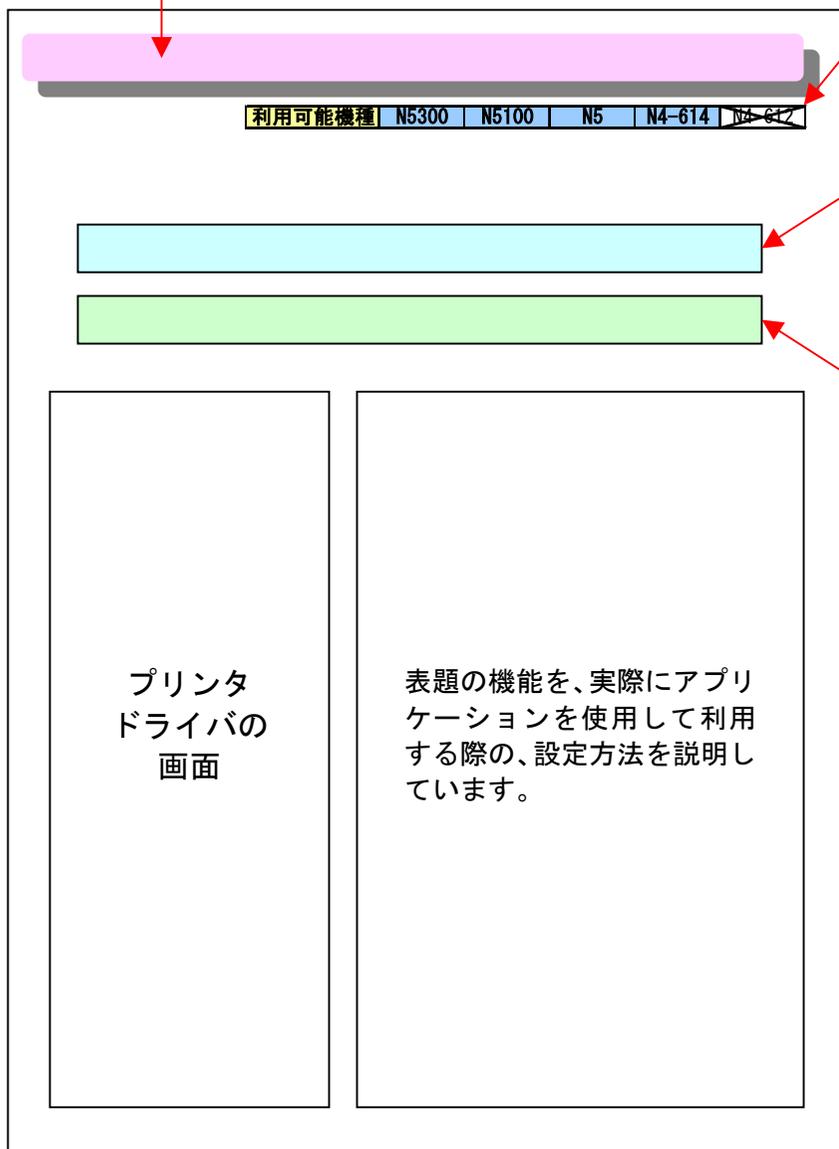
本ガイドは、プリンタドライバの活用方法、機能を次の２つに分けて説明しています。
・活用編（本書）
プリンタドライバの活用方法、及び書式登録方法を実際に例にあげ、説明しています。
・機能編
プリンタドライバの各項目の詳細を説明しています。

**【注意】各プリンタ機種のプリンタドライバでは、動作の異なる部分があります。
注意してご覧頂き、ご使用ください。
本書は、各プリンタ機種のプリンタドライバ「Ver.6.04」以降を対象に作成されています。**

●本書に記載されなかった最新の情報が、各プリンタ機種のプリンタドライバのヘルプ、もしくはテキストファイルに記載されることがあります。本書とあわせて必ずご一読ください。
●印刷実行方法については、印刷を行う各アプリケーションのマニュアル等を確認してください。
●本書に記載されているプリンタドライバの画面は、WindowsXP対応のものです。
ご利用頂く環境によって、実際の画面表示と本文中の画面の図とで差異が見られる場合があります。あらかじめご了承ください。
●本書に記載されているプリンタドライバの機能、操作方法、画面デザインは、機能拡張や改良のため、予告なく改変されることがあります。

活用編

ここでは、SPEEDIA シリーズの実際の活用方法について、例を
あげながら説明しています。この中からお客様がやりたいことを
探してみてください。

■本書（活用編）の見方

＜注意＞

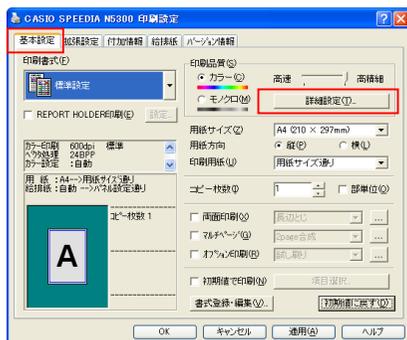
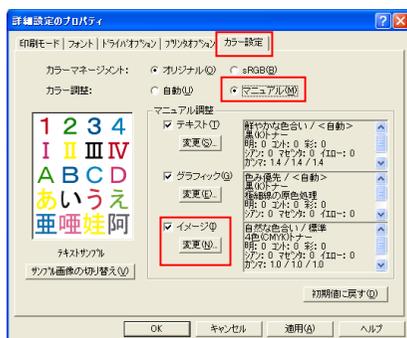
・本書は基本的に N5300／N5100 を使用する際の説明を行っています。
　従って、プリンタ名選択の箇所は、お客様が実際に使用されているプリンタ機種に読み替えてご覧ください。

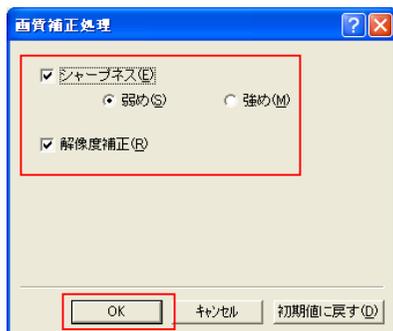
　また、プリンタ機種のイラストが表示されているプリンタドライバの画面がありますが、ここには実際に使用されているプリンタ機種のイラストが表示されます。

1. 画質を自動的に補正して印刷したい。

利用可能機種	N5300	N5100	N5	N4-614	~~N4-612~~

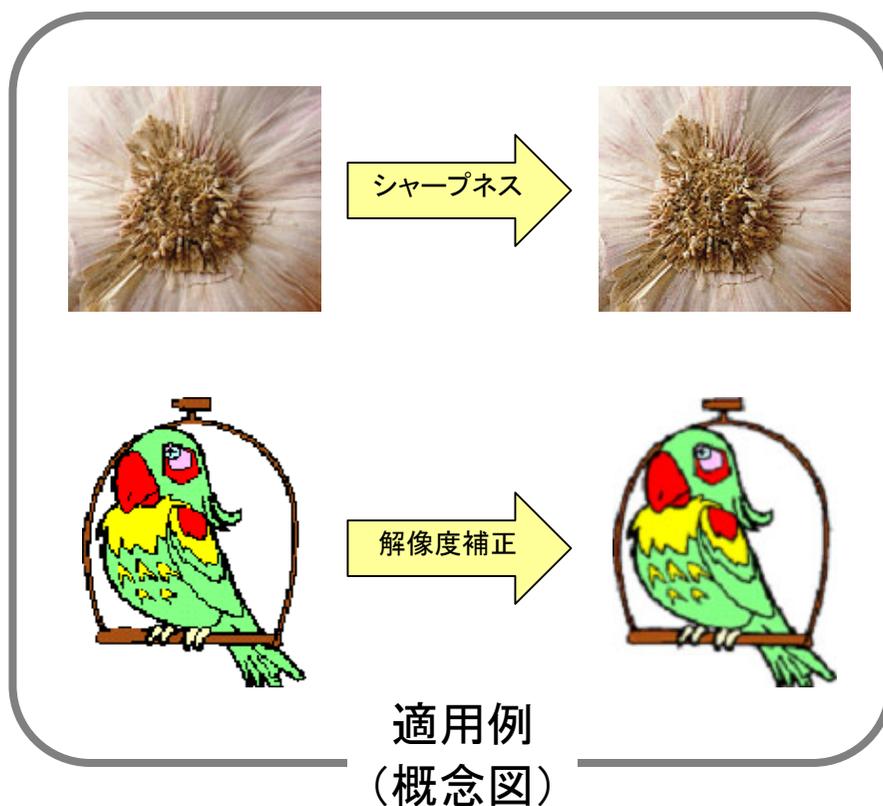
SPEEDIA シリーズでは、写真等の画像を印刷するとき、画質を自動的に補正して印刷を行うことができます。
ここでは、実際にアプリケーションを使用し、自動的に画質を補正する設定で印刷を行ってみましょう。

《ポイント》【基本設定】→【詳細設定】→【カラー設定】より、カラー調整をマニュアルに設定し、【カラー調整（イメージ)】の「画質補正処理」にチェックを入れます。

①アプリケーションから印刷画面を選択します。
プリンタ名で「CASIO SPEEDIA N5300」を選択し、「プロパティ」をクリックします。
【基本設定】タブの画面が起動します。
【詳細設定】をクリックします。

②【カラー設定】タブより、カラー調整を「マニュアル」に設定し、イメージの【変更】ボタンをクリックします。

③「画質補正処理」にチェックを入れます。
必要に応じて【設定】ボタンをクリックし、「画質補正処理」の設定を行います。

④必要があれば、左図の画面より、「画質補正処理」の設定を行います。

⑤【ＯＫ】ボタンをクリックし、アプリケーションより印刷を開始します。

《「シャープネス」を設定すると？》
エッジ強調処理により、画像をクッキリさせます。
【シャープネスの強さの設定】より、エッジの強調度合いを設定します。

《「解像度補正」を設定すると？》
画像拡大時に、補完処理を行うことでエッジのギザギザを最小限にします。

２．まず１部印刷し、確認してから残り部数を印刷したい。 ―【試し刷り印刷】

利用可能機種	N5300	N5100	N5	N4-614	~~N4-612~~

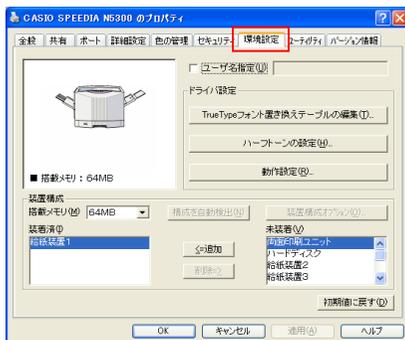
SPEEDIA シリーズでは、大量の印刷を行うとき、まず１部目（１枚）を印刷して確認後、残り部数の印刷を行うことができます。

ここでは、実際に Microsoft Word2000 を使用し、試し刷り印刷をしてみましょう。

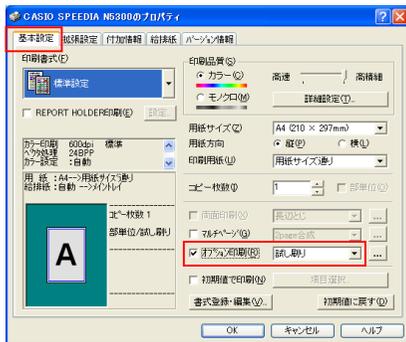
《ポイント》「試し刷り印刷」は、１部目（１枚）印刷後、プリンタ操作パネルのボタン操作によって残り部数の印刷を行います。ボタン操作を行うまで、他の印刷はできなくなります。

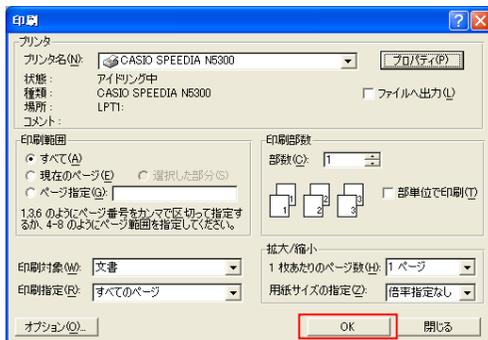
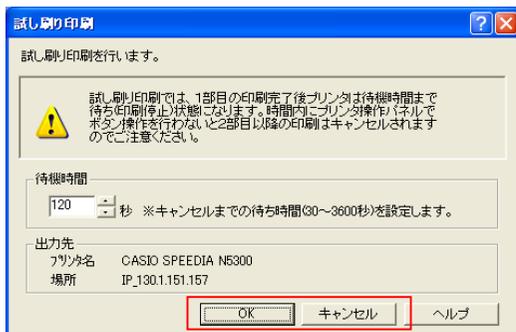
《注意》試し刷り印刷では、オプションのハードディスク（ＣＰ－ＨＤＤ）が必要です。ハードディスク未装着時は使用できません。

※「ハードディスク」が既に装着済に設定されている場合、①～③までの設定は不要です。

①「スタート」メニューから「プリンタとＦＡＸ」を選択し、プリンタフォルダををを開きます。

②「CASIO SPEEDIA N5300」のプリンタドライバを右クリックし、「プロパティ」を選択します。【環境設定】タブをクリックします。

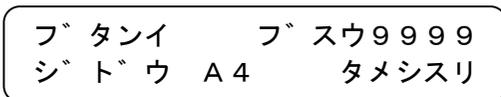
《注意》この【環境設定】タブは、アプリケーション側からは表示されませんので、必ず各ＯＳの「プロパティ」から開いて設定してください。

③「装置構成」の「未装着」の箇所より、「追加」ボタンをクリックし、「ハードディスク」を装着済に移動します。【適用】、【ＯＫ】をクリックします。

④Word2000 より、「ファイル」→「印刷」をクリックします。プリンタ名で「CASIO SPEEDIA N5300」を選択し、「プロパティ」をクリックします。
【基本設定】タブの画面が起動します。
「オプション印刷」にチェックをいれ、「試し刷り」を選択します。

《注意》前頁③の画面で「ハードディスク」が「未装着」に設定されていると、「オプション印刷」はグレー表示され設定することができません。
「オプション印刷」をチェックし、「試し刷り」を選択した場合、[部単位]はグレー表示となり、ＯＮ固定で動作します。

⑤Word2000 の印刷画面より、【ＯＫ】をクリックします。

⑥印刷開始直後、左図のような画面が表示されますので、【ＯＫ】ボタンをクリックし印刷を続行します。
【キャンセル】ボタンをクリックすると印刷を中止します。

■試し刷り印刷中は、プリンタ操作パネルに次のように表示されます。

＜表示例＞

```
ﾌﾞ ﾀﾝｲ       ﾌﾞ ｽｳ９９９９
ｼﾞ ﾄﾞ ｳ  Ａ４      ﾀﾒｼｽﾘ
```

●"９９９９"には指定した印刷部数（コピー枚数）がはいります。
●"タメシスリ"には、２部目以降、残りの印刷枚数が減算表示されます。

⑦１部目の印刷が終了すると、下記のような表示が行われブザーが鳴ります。

<表示例>

タメシスリ　ノコリ　＊＊＊＊ブ
インサツ　／　キャンセル

■上記パネル状態より、
【実行】ボタン・・・１部目の印刷を確認後、残り部数の印刷を再開します。
【取消】ボタン・・・残りの部数を印刷しません。

《ワンポイント》
「試し刷り印刷」では、１部目印刷後、プリンタ操作パネルの何れのボタンも押されない場合、約２分後に残り部数の印刷はキャンセルされます。
その場合、待機中の２分の間に【実行】、【取消】以外の何れかのボタンを押すと、時間設定は初期化され、再度押されたときから２分間のカウントが始まります。

この２分間という時間は初期値で設定されている値ですので、左図の画面より変更することが可能です。
設定は、「３０秒～６０分」まで任意の値を設定することができます。

《試し刷り印刷時の注意事項》
・［コピー枚数］が１枚の場合、「試し刷り印刷」は無効となります。

３．他の人に見られないように印刷をしたい。　－【親展印刷】

利用可能機種	N5300	N5100	N5	N4-614	~~N4-612~~

SPEEDIA シリーズでは、他の人にみられないような親展印刷を行うことができます。
必要に応じて暗証番号を設定することもできます。
ここでは、実際に Microsoft Word2000 を使用し、親展印刷をしてみましょう。

《ポイント》「親展印刷」によりハードディスクに保存されたデータは、プリンタ操作パネルの【ユーザ】ボタンによりジョブ（データ）を選択し、印刷を行います。

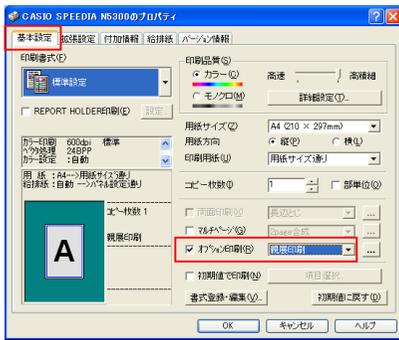
《注意》親展印刷では、印刷データをいったんプリンタのハードディスクに保存しますので、オプションのハードディスク（ＣＰ－ＨＤＤ）が必要です。ハードディスク未装着時は使用できません。

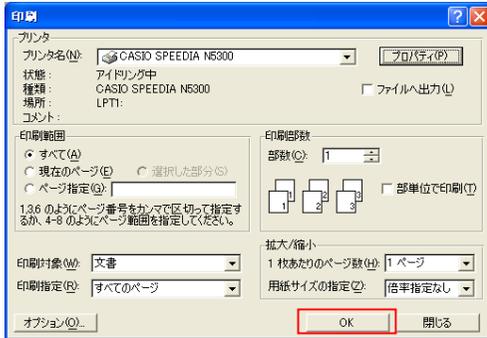
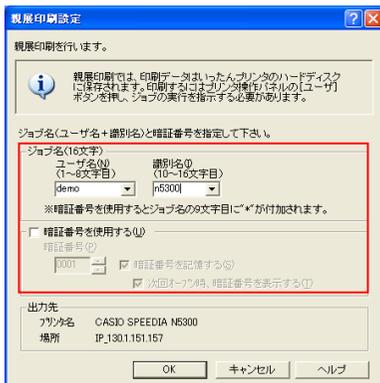
※ハードディスクが既に装着済に設定されている場合、①～③までの設定は不要です。

①「スタート」メニューから「プリンタとＦＡＸ」を選択し、プリンタフォルダをを開きます。

②「CASIO SPEEDIA N5300」のプリンタドライバを右クリックし、「プロパティ」を選択します。【環境設定】タブをクリックします。

《注意》この【環境設定】タブは、アプリケーション側からは表示されませんので、必ず各ＯＳの「プロパティ」から開いて設定してください。

③「装置構成」の「未装着」の箇所より、「追加」ボタンをクリックし、「ハードディスク」を装着済に移動します。【適用】、【ＯＫ】をクリックします。

④Word2000 より、「ファイル」→「印刷」をクリックします。プリンタ名で「CASIO SPEEDIA N5300」を選択し、「プロパティ」をクリックします。
【基本設定】タブの画面が起動します。
「オプション印刷」にチェックをいれ、「親展印刷」を選択します。

《注意》前頁③の画面で「ハードディスク」が「未装着」に設定されていると、「オプション印刷」はグレー表示され設定することができません。

⑤Word2000 の印刷画面より、【ＯＫ】をクリックします。

⑥左図のような「親展印刷設定」が表示されますので、「識別名」、必要に応じて「暗証番号」を設定します。

【ジョブ名】
ジョブ名は１６文字からなり、前半の８文字は、［ユーザ名］、９文字目は暗証番号の有無のマーク(*)、１０文字以降は［識別名］となります。
ここで指定したジョブ名が、プリンタ操作パネルの［ユーザ］ボタンを押してジョブの実行を指示する際にプリンタの操作パネルに表示されます。

【暗証番号】
４桁の暗証番号を入力します。
●暗証番号は、必ず４桁入力する必要があります。

【暗証番号を記憶する】
次回の親展印刷でも同じ暗証番号を使用する場合にチェックします。
暗証番号が記憶され、次回の親展印刷時に暗証番号の初期値として自動的に入力されます。

【次回ｵｰﾌﾟﾝ時、暗証番号を表示する】
［暗証番号を記憶する］で記憶した、暗証番号を番号通りに表示する場合にチェックします。暗証番号を隠す場合は、チェックを外します。
（"****"で表示されます。）

⑦「親展印刷設定」で、【ＯＫ】をクリックすると、ハードディスクへのデータ保存を開始します。

■ハードディスクへ保存中は、操作パネルは以下のように表示されます。

＜表示例＞

```
シンテン　　＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊
シ゛ト゛ウ　Ａ４　　　　ホソ゛ン
```

●上記「＊」には、部単位印刷時の枚数や、ユーザ名等が入ります。

⑧プリンタ操作パネルでオンライン中に「ユーザ」ボタンを押し、ハードディスクに保存されたジョブ（データ）の選択を行います。
尚、ハードディスクに保存されたデータは、プリンタの電源を切っても消えません。

⑨操作パネルの「▲」、「▼」ボタンを押し、ジョブファイルを選択します。

⑩暗証番号を設定していない場合、「実行」ボタンを押すと、印刷が開始されます。

⑪暗証番号を設定した場合、「実行」ボタンを押すと、操作パネルは以下のようになります。

＜表示例＞

```
ｄｅｍｏ　　　　＊ｎ５
▼▲アンショウ　Ｎｏ．　０００００
```

※暗証番号の入力は操作パネルの下記ボタンで行います。
【▼】【▲】・・数字を選択します。
【項目】・・桁を移動します。

■上記パネル状態（暗証番号入力後）より、

「実行」ボタン・・・暗証番号を入力後、入力された暗証番号が一致していれば印刷を開始します。不一致の場合は、再度暗証番号の入力状態に戻ります。

「取消」ボタン・・・暗証番号入力を中止し、下記のようなジョブの「削除／中断」の選択になります。

＜表示例＞

```
ｄｅｍｏ　　　　＊ｎ５
　サクシ゛ョ／チュウタ゛ン
```

■上記パネル状態より、

「実行」ボタン・・・ジョブを削除します。
（ハードディスク上のジョブファイルも削除されます。）

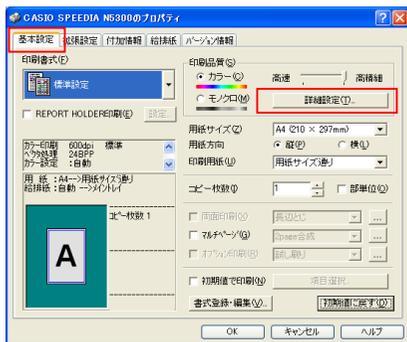
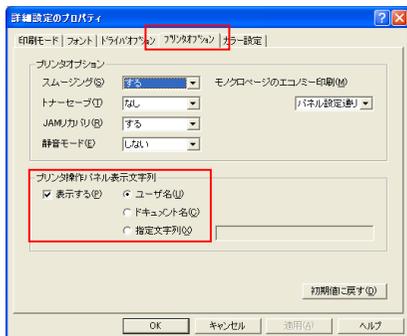
「取消」ボタン・・・親展印刷のジョブの印刷を中断します。ハードディスク上のジョブファイルは保存されたままですので、再度ジョブを選択して印刷することが可能です。

４．プリンタの操作パネルに利用者の名前を表示したい。

利用可能機種	N5300	N5100	N5	N4-614	~~N4-612~~

SPEEDIA シリーズでは、印刷中に、プリンタ操作パネルの上段１６桁の部分に様々な情報を表示させることができます。

ここでは、実際に Microsoft Word2000 を使用し、利用者の名前を表示させ印刷を行ってみましょう。

《ポイント》【基本設定】タブより「詳細設定」をクリックし、【プリンタオプション】の「プリンタ操作パネル表示文字列」の「表示する」にチェックを入れ、設定します。

①Word2000 より、「ファイル」→「印刷」をクリックします。プリンタ名で「CASIO SPEEDIA N5300」を選択し、「プロパティ」をクリックします。
【基本設定】タブの画面が起動します。
【詳細設定】をクリックします。

②【プリンタオプション】タブを開きます。

「プリンタ操作パネル表示文字列」の「表示する」にチェックを入れ、「ユーザ名」を指定します。
（プリンタドライバの初期状態です。）

■「ユーザ名」

Windows のログイン名です。ログイン名がない場合は、空白になります。

※【環境設定】タブで［ユーザ名］を指定した場合は、指定したユーザ名が表示されます。（左図参照）

③【ＯＫ】ボタンをクリックし、Word2000 より印刷を開始します。

※プリンタ操作パネルの文字列は、上記の「ユーザ名」だけでなく、「ドキュメント名」や任意の文字列も表示することができます。但し、「部単位」、「試し刷り」、「親展印刷」等の特殊な印刷の時はフォーマットが変更されて表示されます。

５．両面で印刷をしたい。

利用可能機種	N5300	N5100	N5	~~N4-614~~	~~N4-612~~

SPEEDIA シリーズでは、オプションの両面印刷ユニットを装着時、両面印刷を行うことができます。異なる用紙方向の両面印刷も実現できます。
ここでは、実際に Microsoft Word2000 を使用し、両面印刷を行ってみましょう。

《ポイント》プリンタドライバのプロパティの【環境設定】タブより、「両面印刷ユニット」を「装着済」に設定します。

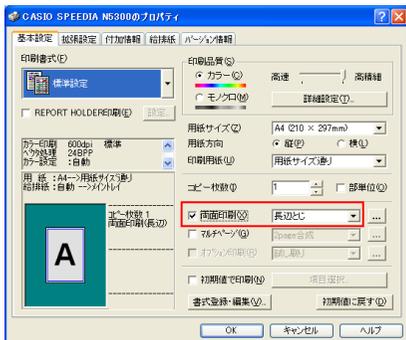
※「両面印刷ユニット」が既に装着済に設定されている場合、①～③までの設定は不要です。

①「スタート」メニューから「プリンタとＦＡＸ」を選択し、プリンタフォルダを を開きます。

②「CASIO SPEEDIA N5300」のプリンタドライバを右クリックし、「プロパティ」を選択します。【環境設定】タブをクリックします。

《注意》この【環境設定】タブは、アプリケーション側からは表示されませんので、必ず各ＯＳの「プロパティ」から開いて設定してください。

③「装置構成」の「未装着」の箇所より、「追加」ボタンをクリックし、「両面印刷ユニット」を装着済に移動します。【適用】、【ＯＫ】をクリックします。

④Word2000 より、「ファイル」→「印刷」をクリックします。プリンタ名で「CASIO SPEEDIA N5300」を選択し、「プロパティ」をクリックします。
【基本設定】タブの画面が起動します。

⑤「両面印刷」にチェックを入れ、「綴じかた」をを選択します。
（ここでは「長辺とじ」を選択しています。）

＜注意＞
N4-614／N4-612 プリンタドライバでは、
「両面印刷」の項目が存在しません。

⑥「綴じしろ」を設定したい場合は、【拡張設定】タブの「綴じしろ」にチェックを入れ、「綴じしろの設定」をクリックして行います。（左図参照）

⑦【ＯＫ】ボタンをクリックし、Word2000 より印刷を開始します。

《両面印刷時の注意事項》

・両面印刷時の印刷速度

Ｎ５３００・・・カラー　：１８イメージ／分（Ａ４横）
モノクロ：２２イメージ／分（Ａ４横）
Ｎ５１００・・・カラー　：１４イメージ／分（Ａ４横）
モノクロ：１８イメージ／分（Ａ４横）
Ｎ５Ⅱ／Ｎ５・・カラー　：１８イメージ／分（Ａ４横）
モノクロ：１８イメージ／分（Ａ４横）

・厚紙（１０６ｇ／㎡～２１０ｇ／㎡）は両面印刷できません。
・特殊紙（はがき、封筒、ＯＨＰ）は両面印刷できません。
・両面印刷に使用する用紙は、８０～１０５ｇ／㎡の上質紙をご使用ください。それ以外の用紙を使用すると、紙詰まりが発生しやすくなります。

６．本のように印刷したい。　（製本綴じ、週刊誌綴じ）

利用可能機種	N5300	N5100	N5	~~N4-614~~	~~N4-612~~

SPEEDIA シリーズでは、両面で印刷したものを中央で折って､本の様に印刷することができます。本書では、BOOK 合成で使用できる「製本綴じ」､「週刊誌綴じ」の機能について説明します。

製本綴じ：
印刷された用紙を１枚ずつ折って、本のように綴じます。

週刊誌綴じ：
印刷された用紙をまとめて折って、本のように綴じます。

《ポイント》プリンタドライバのプロパティの【環境設定】タブより､「両面印刷ユニット」を「装着済」に設定します。
【基本設定】タブより､「マルチページ」にチェックを入れ､「製本綴じ」､「週刊誌綴じ」､「自由 BOOK 合成」の何れかを選択します。

《注意》ＢＯＯＫ合成では、両面印刷が前提ですので、オプションの両面印刷ユニット（Ｎ５－ＲＩＳ）が必要です。
両面印刷ユニットが未装着時は使用できません。

例）本書を BOOK 形式で印刷してみましょう。

※「両面印刷ユニット」が既に装着済に設定されている場合、①～③までの設定は不要です。

①「スタート」メニューから「プリンタとＦＡＸ」を選択し、プリンタフォルダを開きます。

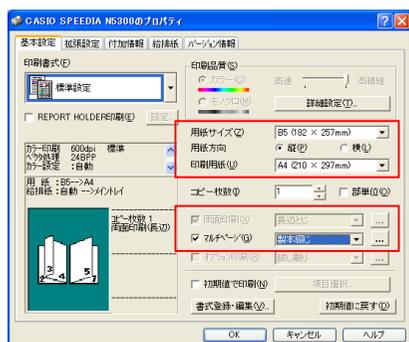
②「CASIO SPEEDIA N5300」のプリンタドライバを右クリックし､「プロパティ」を選択します。
【環境設定】タブをクリックします。

《注意》この【環境設定】タブは、アプリケーション側からは表示されませんので、必ず各ＯＳの「プロパティ」から開いて設定してください。

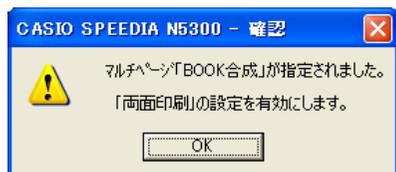
③「装置構成」の「未装着」の箇所より、「追加」ボタンをクリックし､「両面印刷ユニット」を装着済に移動します。【適用】､【ＯＫ】をクリックします。

■「製本綴じ」を行う場合は､「１－④.」（P21）以降へ､「週刊誌綴じ」を行う場合は、「２－④.」（P22）以降をご覧ください。

１．製本綴じ印刷

④Word2000 より、「ファイル」→「印刷」をクリックします。プリンタ名で「CASIO SPEEDIA N5300」を選択し、「プロパティ」をクリックします。
【基本設定】タブの画面が起動します。

⑤【基本設定】タブより、以下の箇所を設定します。

- 「用紙サイズ」・・・「Ｂ５」
- 「用紙方向」・・・・「縦」
- 「印刷用紙」・・・・「Ｂ４」

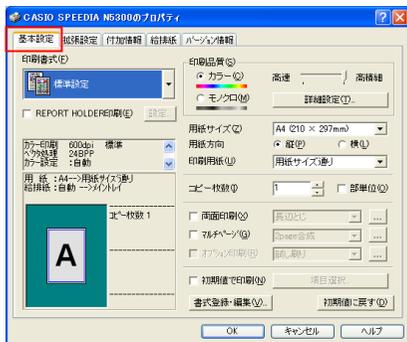
「マルチページ」にチェックを入れ、「製本綴じ」を選択します。

「マルチページ」の「製本綴じ」を選択が選択されると、左図メッセージが表示され、自動的に「両面印刷」がチェックされます。

⑥ **…** をクリックし、バリエーションを指定します。ここでは、左側の「製本綴じ：左開き」を選択します。

その他の項目は、必要に応じて設定します。

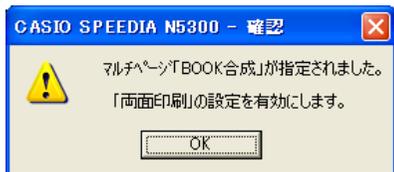
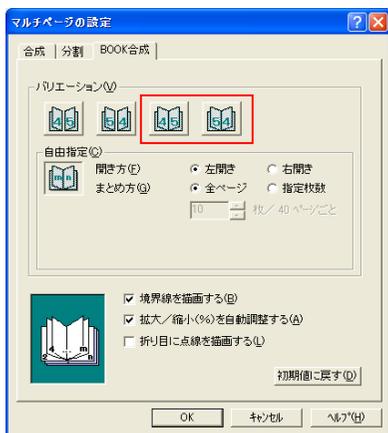
⑦【ＯＫ】ボタンをクリックし、Word2000 より印刷を開始します。

⑧印刷された印刷物を１枚づつ折り、最後にホッチキスで止めます。

２．週刊誌綴じ印刷

④Word2000 より、「ファイル」→「印刷」をクリックします。プリンタ名で「CASIO SPEEDIA N5300」を選択し、「プロパティ」をクリックします。
【基本設定】タブの画面が起動します。

⑤【基本設定】タブより、以下の箇所を設定します。

- ●「用紙サイズ」・・・「Ｂ５」
- ●「用紙方向」・・・・「縦」
- ●「印刷用紙」・・・・「Ｂ４」

「マルチページ」にチェックを入れ、「週刊誌綴じ」を選択します。

「マルチページ」の「週刊誌綴じ」が選択されると、左図メッセージが表示され、自動的に「両面印刷」がチェックされます。

⑥ ... をクリックし、バリエーションを指定します。ここでは、左側から３つめのボタン「週刊誌綴じ：左開き」を選択します。

その他の項目は、必要に応じて設定します。

⑦【ＯＫ】ボタンをクリックし、Word2000 より印刷を開始します。

⑧印刷された印刷物をまとめて折り、最後にホッチキスで止めます。

＜ワンポイント＞
週刊誌綴じ印刷の場合、ある程度枚数が多くなると、まとめて折りにくくなります。このような時は、「自由指定」を選択することで、１束としてまとめる用紙の枚数を指定することができます。指定した枚数分の用紙をまとめて半分に折ることで、本のように綴じることができます。

7．両面印刷時、綴じしろ量を設定して印刷したい。
その際、綴じしろで設定した値分、縮小して印刷したい。

利用可能機種	N5300	N5100	N5	~~N4-614~~	~~N4-612~~

SPEEDIA シリーズでは、両面印刷を行う際、綴じしろ量を設定することができます。また、綴じしろで設定した値分を、ページ内に収まるよう縮小して印刷することができます。

ここでは、実際に Microsoft Word2000 を使用し、両面印刷を行ってみましょう。

> 《ポイント》「拡張設定」タブの「綴じしろ」にチェックを入れ、「綴じしろ量」を設定し、「綴じしろの分だけ縮小する」にチェックを入れます。

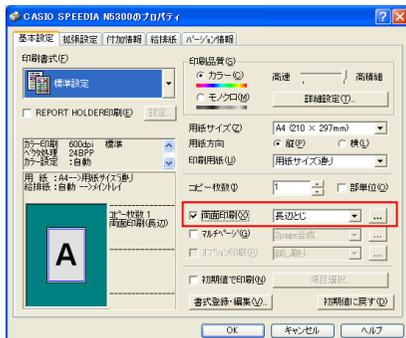
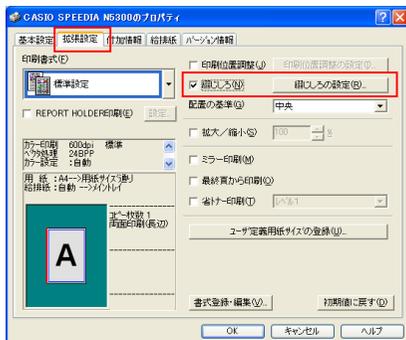
※「両面印刷ユニット」が既に装着済に設定されている場合、①～③までの設定は不要です。

①「スタート」メニューから「プリンタとＦＡＸ」を選択し、プリンタフォルダを開きます。

②「CASIO SPEEDIA N5300」のプリンタドライバを右クリックし、「プロパティ」を選択します。【環境設定】タブをクリックします。

《注意》この【環境設定】タブは、アプリケーション側からは表示されませんので、必ず各ＯＳの「プロパティ」から開いて設定してください。

③「装置構成」の「未装着」の箇所より、「追加」ボタンをクリックし、「両面印刷ユニット」を装着済に移動します。【適用】、【ＯＫ】をクリックします。

④Word2000 より、「ファイル」→「印刷」をクリックします。プリンタ名で「CASIO SPEEDIA N5300」を選択し、「プロパティ」をクリックします。【基本設定】タブの画面が起動します。

⑤「両面印刷」にチェックを入れます。

⑥【拡張設定】タブの「綴じしろ」にチェックを入れ、「綴じしろの設定」をクリックします。

⑦「綴じしろ量」に値を設定します。
「綴じしろの分だけ縮小する」にチェックを入れます。

⑧【ＯＫ】ボタンをクリックし、Word2000 より印刷を開始します。

《「綴じしろ」設定時の注意事項》

●綴じしろ量は、用紙の端からの値を設定します。従って最小幅は、プリンタで印刷できない領域(5mm)になります。

●アプリケーション側で設定する余白は、綴じしろ量［5.0mm］が基準になっています。従って、綴じしろを設定することで、余分に取られる余白は、綴じしろ量から 5mm を引いた量となります。

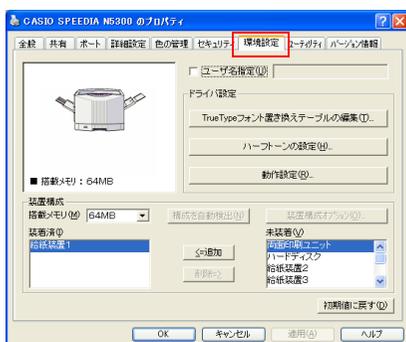
８．Excel で複数のシートで作成されているファイルを両面で印刷したい。

利用可能機種	N5300	N5100	N5	~~N4-614~~	~~N4-612~~

SPEEDIA シリーズでは、Excel で印刷する際、複数のシートで作成されているファイルを両面で印刷することができます。
ここでは、実際に Microsoft Excel2000 を使用し、両面印刷を行ってみましょう。

《ポイント》作成されているすべてのシートにおいて、「ファイル」→「ページ設定」→「オプション」でドライバの「両面印刷」を設定します。

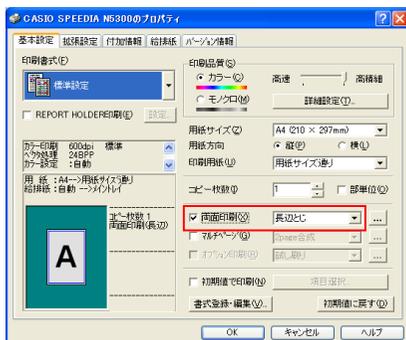
※「両面印刷ユニット」が既に装着済に設定されている場合、①～③までの設定は不要です。

①「スタート」メニューから「プリンタとＦＡＸ」を選択し、プリンタフォルダを開きます。

②「CASIO SPEEDIA N5300」のプリンタドライバを右クリックし、「プロパティ」を選択します。
【環境設定】タブをクリックします。

《注意》この【環境設定】タブは、アプリケーション側からは表示されませんので、必ず各ＯＳの「プロパティ」から開いて設定してください。

③「装置構成」の「未装着」の箇所より、「追加」ボタンをクリックし、「両面印刷ユニット」を装着済に移動します。【適用】、【ＯＫ】をクリックします。

④Excel2000 より、「ファイル」→「ページ設定」→「オプション」をクリックします。
【基本設定】タブの画面が起動します。

※N5300 のドライバ画面が起動しない場合は、他のドライバが設定されています。
「ファイル」→「印刷」より「CASIO SPEEDIA N5300」を選択してください。

⑤「両面印刷」にチェックを入れます。
「綴じかた」を設定します。

また、【拡張設定】タブの「綴じしろ」にチェックを入れると、「綴じしろ」の値を設定することができます。

⑥「④、⑤」の設定を、作成されているすべてのシートに対して行います。

⑦「ファイル」→「ページ設定」→「印刷」を行います。

⑧Excel の印刷画面において、「印刷対象」より、「ブック全体」もしくは「選択したシート」に設定し、印刷を開始します。

《Excel 印刷時の注意事項》

●[ページ設定]のページタブの[印刷品質]に正しい解像度が表示されているのを確認してください。異なるプリンタを設定した状態で作成したデータを読み込むと、ここが空白表示となる場合があります。その場合は正しく印刷されない場合があります。

●複数のシートで作成されたファイルを「ブック全体」で印刷する場合、[印刷モード]の[ドット階調]は、必ず各シートでの設定([ページ設定]の[オプション]で行うプリンタドライバの設定)と印刷時のプリンタドライバの設定を同一にする必要があります。

９．印刷物に複製防止のための、牽制パターンを印刷したい。

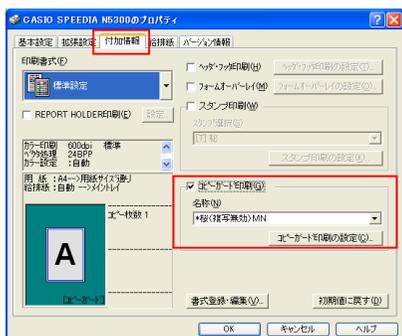
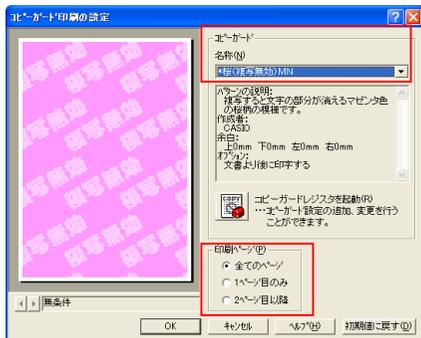
利用可能機種	N5300	N5100	N5	~~N4-614~~	~~N4-612~~

SPEEDIA シリーズでは、印刷物に書類の偽造、不正利用、流出を抑制する手段として、コピー時に複製であることを意味する文字が浮かび上がる特殊なパターンを印刷することができます。

ここでは、実際にアプリケーションを使用し、複製防止のためのパターンを付加して印刷を行ってみましょう。

《ポイント》【付加情報】タブの「コピーガード印刷」の項目にチェックを入れ、設定します。

《注意》「コピーガード印刷」機能を利用するためには、本体同梱のＣＤを使用し、セットアッププログラムよりプリンタドライバをインストールする必要があります。プリンタフォルダの「プリンタの追加」からプリンタドライバをインストールした場合は、プリンタドライバセットの［CGSystem］フォルダ内のセットアッププログラムを実行することで利用できるようになります。

①アプリケーションから印刷画面を選択します。
プリンタ名で「CASIO SPEEDIA N5300」を選択し、「プロパティ」をクリックします。
【基本設定】タブの画面が起動します。
【付加情報】タブを開きます。

②【付加情報】タブ内の、「コピーガード印刷」にチェックを入れ、コピーガードのパターンを選択します。
「コピーガード印刷の設定」をクリックします。

③「コピーガード印刷の設定」より、設定を行います。

【名称】
使用するコピーガードシート名を選択します。

【印刷ページ】
コピーガードパターンを印刷するページを指定します。

《注意》印刷できる文字やパターンはあらかじめ設定されているため、登録されているもの以外では使用することはできません。
文字やパターンを変更したい場合は、「コピーガードツール」というソフトウェア（有償）をインストールする必要があります。
インストールを行うと、上記グレーアウトされている「コピーガードレジスタ」が実行できるようになり、パターンを追加することができます。

④【ＯＫ】ボタンをクリックし、アプリケーションより印刷を開始します。

■N5300 での印刷イメージと、コピーしたときのイメージは下記のようになります。

コピーガードシート名＜格子（VOID(CN)＞
【N5300 印刷時】

１０．印刷物に複製防止のための、牽制パターンを印刷したい。

利用可能機種 N5 ~~N4-614~~ ~~N4-612~~

SPEEDIA N5 では、印刷物に書類の偽造、不正利用、流出を抑制する手段として、コピー時に複製であることを意味する文字が浮かび上がる特殊なパターンを印刷することができます。
ここでは、実際にアプリケーションを使用し、複製防止のためのパターンを付加して印刷を行ってみましょう。

《ポイント》【付加情報】タブの「コピーガード印刷」の項目にチェックを入れ、設定します。

《注意》「コピーガード印刷」機能を利用するためには、本体同梱のＣＤを使用し、セットアッププログラムよりプリンタドライバをインストールする必要があります。プリンタフォルダの「プリンタの追加」からプリンタドライバをインストールした場合は、プリンタドライバセットの［CGSystem］フォルダ内のセットアッププログラムを実行することで利用できるようになります。

①アプリケーションから印刷画面を選択します。
プリンタ名で「CASIO SPEEDIA N5」を選択し、「プロパティ」をクリックします。
【印刷書式】タブの画面が起動します。
【付加情報】タブを開きます。

②【付加情報】タブ内の、「コピーガード印刷」にチェックを入れ、「コピーガード印刷の設定」をクリックします。

【コピー時】

１０．印刷物に複製防止のための、牽制パターンを印刷したい。

利用可能機種 N5 ~~N4-614~~ ~~N4-612~~

SPEEDIA N5 では、印刷物に書類の偽造、不正利用、流出を抑制する手段として、コピー時に複製であることを意味する文字が浮かび上がる特殊なパターンを印刷することができます。
ここでは、実際にアプリケーションを使用し、複製防止のためのパターンを付加して印刷を行ってみましょう。

《ポイント》【付加情報】タブの「コピーガード印刷」の項目にチェックを入れ、設定します。

《注意》「コピーガード印刷」機能を利用するためには、本体同梱のＣＤを使用し、セットアッププログラムよりプリンタドライバをインストールする必要があります。プリンタフォルダの「プリンタの追加」からプリンタドライバをインストールした場合は、プリンタドライバセットの［CGSystem］フォルダ内のセットアッププログラムを実行することで利用できるようになります。

①アプリケーションから印刷画面を選択します。
プリンタ名で「CASIO SPEEDIA N5」を選択し、「プロパティ」をクリックします。
【印刷書式】タブの画面が起動します。
【付加情報】タブを開きます。

②【付加情報】タブ内の、「コピーガード印刷」にチェックを入れ、「コピーガード印刷の設定」をクリックします。

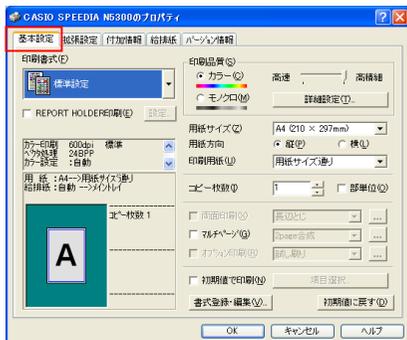
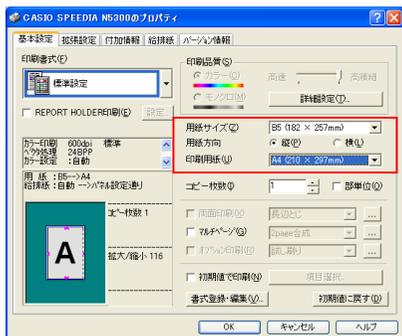
《注意》下記の設定になっている場合、コピーガード印刷は無効になります。（グレーアウトされます。）
・解像度が［600dpi］以外に設定されている。
・マルチページの設定で、［分割］または［BOOK 合成］が選択されている。
・フォームオーバーレイ印刷のフォーム処理で［フォームファイル出力］が選択されている。
・セパレータの挿入の［１ページごとにセパレータを挿入する］の設定で［セパレータにコピーを印刷する］にチェックがされている。

１０．拡大／縮小して印刷したい。

利用可能機種	N5300	N5100	N5	N4-614	N4-612

SPEEDIA シリーズでは、実際にアプリケーションで作成した用紙サイズとは別の用紙サイズに自由に拡大／縮小印刷することができます。

《ポイント》【基本設定】タブより、「印刷用紙」を実際に印刷したい用紙に変更します。

例）本書は「Ｂ５」で作成されています。Ａ４に拡大して印刷してみましょう。

①Word2000 より、「ファイル」→「印刷」をクリックします。プリンタ名で「CASIO SPEEDIA N5300」を選択し、「プロパティ」をクリックします。【基本設定】タブの画面が起動します。

②【基本設定】タブの「印刷用紙」を「Ａ４」に変更します。

●「用紙サイズ」は、アプリケーション側の用紙サイズを設定してください。（ここではＢ５）

【拡張設定】タブを開くと、「拡大／縮小」の欄にチェックが付き、用紙サイズとの値で、「%値」が自動的に設定されます。

※設定できる範囲は、２４％～３００％です。

③【ＯＫ】ボタンをクリックし、Word2000 より印刷を開始します。

《拡大／縮小時の注意事項》
- [用紙サイズ：B4/A4 帳票]を選択している時、拡大/縮小は設定できません。
- アプリケーション側で設定した余白も拡大／縮小されます。
- ＯＣＲフォントは使用できなくなります。

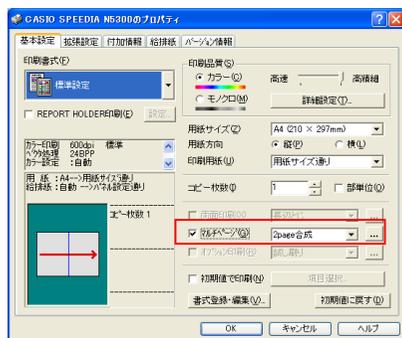
１１．１枚の用紙に複数のページを印刷したい。

利用可能機種	N5300	N5100	N5	N4-614	N4-612

SPEEDIA シリーズでは、１枚の用紙に複数のページを印刷する、マルチページの合成を行うことができます。また、自由なバリエーションも行うことができ、最大１６×１６（２５６ページ）まで設定することが可能です。

《ポイント》【基本設定】タブより、「マルチページ」にチェックを入れ、「2page 合成」、「4page 合成」、「自由合成」の何れかを選択します。

例１）４ページ分のＡ４データ（横）をＡ４用紙（横）１枚に印刷してみましょう。
（アプリケーションは Microsoft Word2000 を使用）

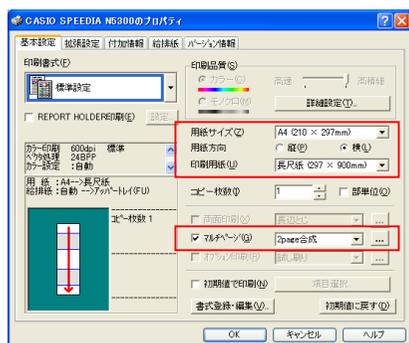
①Word2000 より、「ファイル」→「印刷」をクリックします。プリンタ名で「CASIO SPEEDIA N5300」を選択し、「プロパティ」をクリックします。【基本設定】タブの画面が起動します。

②「マルチページ」にチェックを入れます。「2page 合成」、「4page 合成」、「自由合成」の何れかを選択します。
... をクリックします。

③「マルチページ設定」の以下の箇所を設定します。

● 「バリエーション」・・左から３番目以降を指定します。

④【ＯＫ】ボタンをクリックし、Word2000 より印刷を開始します。

例２）４ページ分のＡ４データ（横）を長尺紙（縦）１枚に印刷してみましょう。
（アプリケーションは Microsoft Word2000 を使用）

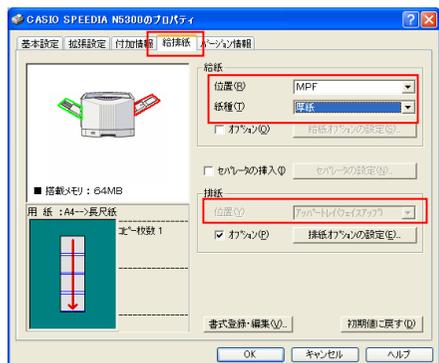
①Word2000 より、「ファイル」→「印刷」をクリックします。プリンタ名で「CASIO SPEEDIA N5300」を選択し、「プロパティ」をクリックします。
【基本設定】タブの画面が起動します。

②【基本設定】タブより、以下の箇所を設定します。

- 「用紙サイズ」・・「Ａ４」
- 「用紙方向」・・・「横」
- 「印刷用紙」・・・「長尺紙」

（印刷用紙を「長尺紙」に設定すると、解像度は「300dpi」に変更されます。）
「マルチページ」にチェックを入れます。
… をクリックします。

③「マルチページ設定」の「自由指定」のアイコンをクリックします。

- 「用紙方向」・・・・「横」
- 「印刷用紙方向」・・「異方向」
  （元のデータはランドスケープですが、実際の長尺紙にはポートレートで印刷するため）
- 「合成数」・・Ｘ（幅）方向に１ページ
  ・・Ｙ（長さ）方向に４ページ

その他の項目は必要に応じて設定します。

④【給排紙】タブで、以下の項目を設定します。
「給紙位置」・・「ＭＰＦ」、
「紙種」・・・・「厚紙」、
「排紙位置」･･「アッパートレイ（フェイスアップ）」
（グレー表示され、変更できません。）

⑤【ＯＫ】ボタンをクリックし、Word2000 より印刷を開始します。

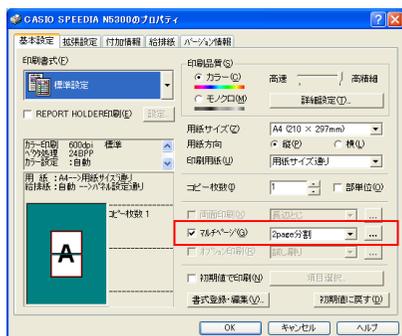
１２． １枚の用紙を複数のページに分割して印刷し、ポスターみたいな大きな印刷物をつくりたい。

利用可能機種	N5300	N5100	N5	N4-614	N4-612

SPEEDIA シリーズでは、１枚の用紙を複数のページに分割して拡大印刷する、マルチページの分割を行うことができます。また、自由なバリエーションも行うことができ、最大４×４（１６分割）まで設定することが可能です。

《ポイント》基本設定】タブより、「マルチページ」にチェックを入れ、「2page 分割」、「4page 分割」、「自由分割」の何れかを選択します。
例）分割することによって得られるサイズは以下の通りです。
- Ａ３を４枚に分割→Ａ１（５９４×８４０mm）
- Ｂ４を４枚に分割→Ｂ２（５１４×７２８mm）
- Ａ４を４枚に分割→Ａ２（４２０×５９４mm）
- Ｂ５を４枚に分割→Ｂ３（３６４×５１４mm）
- 長尺紙を横向きに置き、縦に４枚並べる。→模造紙を超える大きさを実現。

例１）１ページのＡ４データ（縦）を分割してＡ２サイズ（Ａ４サイズ４枚）に印刷してみましょう。（アプリケーションは Microsoft Word2000 を使用）

①Word2000 より、「ファイル」→「印刷」をクリックします。プリンタ名で「CASIO SPEEDIA N5300」を選択し、「プロパティ」をクリックします。【基本設定】タブの画面が起動します。

②「マルチページ」にチェックを入れます。「2page 分割」、「4page 分割」、「自由分割」の何れかを選択します。
 ... をクリックします。

③「マルチページの設定」の以下の箇所を設定します。

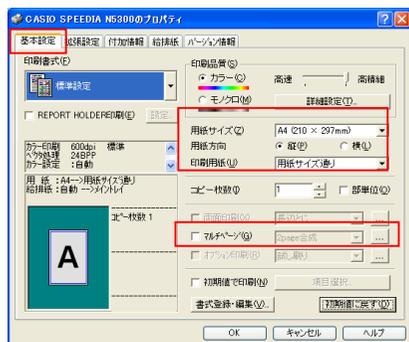
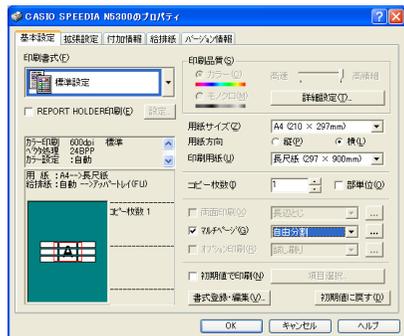
●「バリエーション」・・左から２番目の４分割を指定します。

※「境界線を描画する」にチェックを入れておくと、境界線が印刷されるため、印刷後、用紙を貼り合わせやすくなります。

④【ＯＫ】ボタンをクリックし、Word2000 より印刷を開始します。

⑤４枚に印刷されたものを、境界線を参考に貼り合わせます。

例２）１ページのＡ４データ（縦）を分割して、長尺紙を横置きに縦４枚並べて
　　　模造紙大に印刷してみましょう。
　　　（アプリケーションは Microsoft Word2000 を使用）

《注意》
大きな用紙サイズ（Ａ３、長尺紙）を分割して印刷する場合、データによっては、
一部の文字が抜けたりする等、印刷が不正になる場合があります。
このような場合は、プリンタドライバ側の解像度を「300dpi」に設定するか、
分割数を減らして印刷することをお勧めします。
※長尺紙は、600dpi よりも高い解像度で［分割］印刷はできません。

①Word2000 より、「ファイル」→「印刷」をクリック
　します。プリンタ名で「CASIO SPEEDIA N5300」
　を選択し、「プロパティ」をクリックします。
【基本設定】タブの画面が起動します。

②【基本設定】タブより、以下の箇所を設定します。

- 「用紙サイズ」・・「Ａ４」
- 「用紙方向」・・・「横」
- 「印刷用紙」・・・「長尺紙」

（印刷用紙を「長尺紙」に設定すると、解像度は
　「300dpi」に変更されます。）

「マルチページ」にチェックを入れ、「自由分割」を
を選択します。
... をクリックします。

③「マルチページ設定」の「自由指定」のアイコンをクリックします。

● 「用紙方向」・・・・「縦」
● 「印刷用紙方向」・・「異方向」
（元のデータはポートレートだが、実際の長尺紙にはランドスケープで印刷するため）
● 「合成数」・・X（幅）方向に１ページ
・・Y（長さ）方向に４ページ

※「境界線を描画する」にチェックを入れておくと、境界線が印刷されるため、印刷後、用紙を貼り合わせやすくなります。

④【給排紙】タブで、以下の項目を設定します。
「給紙位置」・・「ＭＰＦ」、
「紙種」・・・・「厚紙」、
「排紙位置」・・「アッパートレイ（フェイスアップ）」
（グレー表示され、変更できません。）

⑤【ＯＫ】ボタンをクリックし、Word2000 より印刷を開始します。

⑥４枚に印刷されたものを、境界線を参考に貼り合わせます。

《分割印刷時の注意事項》

マルチページ［分割］により拡大印刷を行う場合、用紙サイズと解像度の指定によっては Windows 側で管理できる範囲を超えるため、ドライバ側で自動的に解像度を落として印刷する場合があります。ただし、アプリケーションによっては、ドライバ側で自動的に解像度を落として印刷すると正しい印刷結果が得られない場合があります。その場合は、あらかじめ分割数や解像度を下げた上でアプリケーションを起動し直して印刷してください。

１３．部単位の印刷を高速に行いたい。

利用可能機種	N5300	N5100	N5	N4-614	N4-612

SPEEDIA シリーズでは、今までパソコン側で処理していた部単位の印刷が、ハードディスクを装着することで、パソコンからのデータ出力時間を短縮し、より高速な印刷を行うことができます。
ここでは、実際に Microsoft Word2000 を使用し、部単位の印刷を行ってみましょう。

《ポイント》アプリケーション側の「部単位」に関する設定は、必ずＯＦＦに設定してください。

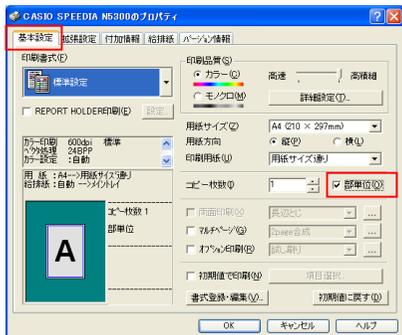
《注意》ハードディスクが未装着の場合でも、部単位の印刷は実現できますが、印刷速度が遅くなる場合がありますので、ハードディスクを装着しての運用をお勧めします。
N4-612 シリーズの場合、ハードディスクは装着できませんが、以下の手順を行うことで、プリンタ側で部単位の印刷が実現できるようになります。

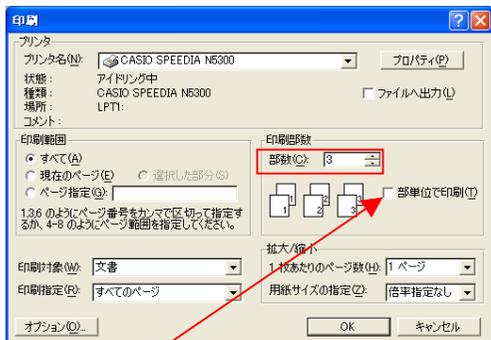
※「ハードディスク」が既に装着済に設定されている場合、①～③までの設定は不要です。
N4-612 はハードディスクを装着することはできませんので、①～③までの設定は不要です。

①「スタート」メニューから「プリンタとＦＡＸ」を選択し、プリンタフォルダをを開きます。

②「CASIO SPEEDIA N5300」のプリンタドライバを右クリックし、「プロパティ」を選択します。
【環境設定】タブをクリックします。

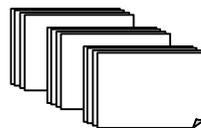
《注意》この【環境設定】タブは、アプリケーション側からは表示されませんので、必ず各ＯＳの「プロパティ」から開いて設定してください。

③「装置構成」の「未装着」の箇所より、「追加」ボタンをクリックし、「ハードディスク」を装着済に移動します。【適用】、【ＯＫ】をクリックします。

④Word2000 より、「ファイル」→「印刷」をクリックします。プリンタ名で「CASIO SPEEDIA N5300」を選択し、「プロパティ」をクリックします。
【基本設定】タブの画面が起動します。
「部単位」にチェックをいれます。

《注意》「コピー枚数」は Word2000 側で設定しますので、この画面では設定しないでください。

⑤Word2000 の印刷画面より、部数の箇所に任意の数値を設定します。
（左図では３部に設定しています。）

《注意》
Word2000 側の「部単位で印刷」にはチェックを入れないでください。
（チェックが入っている場合は、外してください。）
ここにチェックが入っていると、正しく部単位の印刷が行われません。

⑥【ＯＫ】ボタンをクリックし、Word2000 より印刷を開始します。

右の図のように部単位で３部印刷されます。

■部単位印刷中は、プリンタ操作パネルに次のように表示されます。

＜表示例＞

フ゛タンイ　　　フ゛スウ９９９９
シ゛ト゛ウ　Ａ４　　イチフ゛メ

●"９９９９"には指定した印刷部数（コピー枚数）がはいります。
●"イチフ゛メ"には、２部目以降、残りの印刷枚数が減算表示されます。

１４．部単位印刷時、部の変わり目に色紙をはさんで印刷したい。

利用可能機種	N5300	N5100	N5	N4-614	N4-612

SPEEDIA シリーズでは、部単位の印刷時、部と部の切れ目に白紙や色紙を挿入し、変わり目がわかるように印刷することができます。（セパレータの挿入）
ここでは、実際に Microsoft Word2000 を使用し、部の切れ目にセパレータを挿入してみましょう。

《ポイント》アプリケーション側の「部単位」に関する設定は、必ずＯＦＦに設定してください。
【給排紙】タブで、「セパレータの挿入」にチェックをいれ、設定を行います。

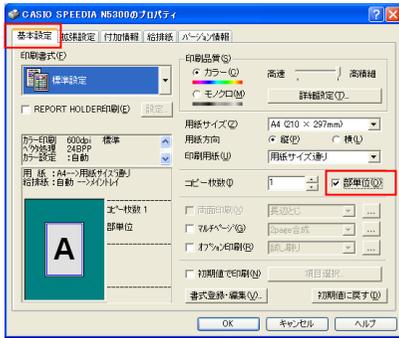
《注意》部単位の印刷はハードディスクを装着することにより、高速な印刷を行うことができます。ハードディスクが未装着の場合でも、部単位の印刷は実現できますが、印刷スピードが遅くなる場合がありますので、ハードディスクを装着しての運用をお勧めします。

※「ハードディスク」が既に装着済に設定されている場合、①～③までの設定は不要です。
N4-612 はハードディスクを装着することはできませんので、①～③までの設定は不要です。

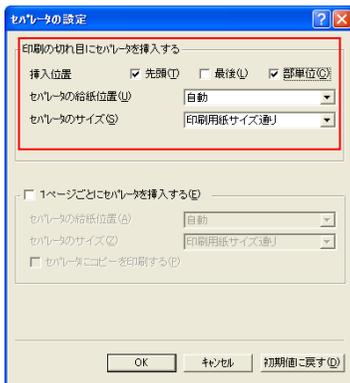
①「スタート」メニューから「プリンタとＦＡＸ」を選択し、プリンタフォルダをを開きます。

②「CASIO SPEEDIA N5300」のプリンタドライバを右クリックし、「プロパティ」を選択します。
【環境設定】タブをクリックします。

《注意》この【環境設定】タブは、アプリケーション側からは表示されませんので、必ず各ＯＳの「プロパティ」から開いて設定してください。

③「装置構成」の「未装着」の箇所より、「追加」ボタンをクリックし、「ハードディスク」を装着済に移動します。【適用】、【ＯＫ】をクリックします。

④Word2000 より、「ファイル」→「印刷」をクリックします。プリンタ名で「CASIO SPEEDIA N5300」を選択し、「プロパティ」をクリックします。【基本設定】タブの画面が起動します。「部単位」にチェックをいれます。

《注意》「コピー枚数」は Word2000 側で設定しますので、この画面では設定しないでください。

⑤【給排紙】タブより、「セパレータの挿入」にチェックを入れ、【セパレータの設定】ボタンをクリックします。

⑥「印刷の切れ目にセパレータを挿入する」の設定より、「挿入位置」を「部単位」に設定します。

「セパレータの挿入位置」、「セパレータのサイズ」は通常変更する必要はありません。
但し、用紙の切れ目に色紙を挿入したい時などは、色紙が入っている「給紙位置」に変更する必要があります。
例）ＭＰＦに色紙をセットした場合
　　→セパレータの給紙位置を「ＭＰＦ」に変更

⑦Word2000 の印刷画面より、部数の箇所に適切な数値を設定します。
（左図では３部に設定しています。）

《注意》
Word2000 側の「部単位で印刷」にはチェックを入れないでください。
（チェックが入っている場合は、外してください。）
ここにチェックが入っていると、正しく部単位の印刷が行われません。

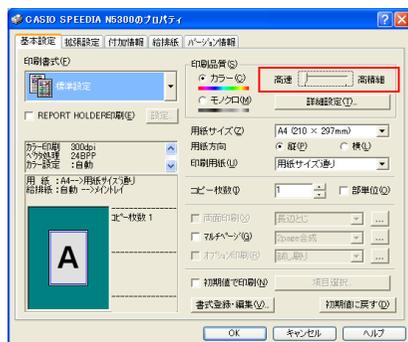
⑧【ＯＫ】ボタンをクリックし、Word2000 より印刷を開始します。

１５．もっと高速に印刷したい。　ー【高速】

利用可能機種	N5300	N5100	N5	N4-614	N4-612

SPEEDIA シリーズでは、高速に印刷を行う設定がワンタッチで行えます。
（印字品質は若干落ちます。）
ここでは、実際に Microsoft Word2000 を使用し、高速な設定で印刷してみましょう。

《ポイント》【基本設定】タブより、印刷品質のスライドバーを「高速」に設定します。
「300dpi／多階調１」で印刷されます。

①Word2000 より、「ファイル」→「印刷」をクリックします。プリンタ名で「CASIO SPEEDIA N5300」を選択し、「プロパティ」をクリックします。
【基本設定】タブの画面が起動します。

②印刷品質のスライドバーを「高速」に設定します。

③【ＯＫ】ボタンをクリックし、Word2000 より印刷を開始します。

１６．写真をもっときれいに印刷したい。

利用可能機種	N5300	N5100	N5	N4-614	N4-612

SPEEDIA シリーズで写真をよりきれいに印刷するには、プリンタドライバ側の印刷書式を選択することで実現します。

ここでは、実際にアプリケーションを使用し、写真の印刷を行ってみましょう。

《ポイント》【基本設定】タブの印刷書式で、「写真・イメージ」を選択します。
「600dpi／多階調２」で印刷されます。
※N4-614／N4-612 は「600dpi／多階調１」で印刷されます。

《注意》N5300 の場合、「写真・イメージ」の書式は、印刷クオリティの向上を行うため、印刷速度を下げて印刷を行います。（22 枚／分：A4 横カラー）
尚、N5100 では上記動作は行いません。

①アプリケーションより、「ファイル」→「印刷」をクリックします。プリンタ名で「CASIO SPEEDIA N5300」を選択し、「プロパティ」をクリックします。【基本設定】タブの画面が起動します。

②【基本設定】タブの「印刷書式」より「▼」ボタンををクリックし、「写真・イメージ」を選択します。

③【ＯＫ】ボタンをクリックし、アプリケーションより印刷を開始します。

《印刷書式「写真・イメージ」の概要》

写真イメージをよりきれいに印刷する場合に使用します。階調重視で印刷します。［標準設定］と異なり､テキスト・グラフィック・イメージとも同一のカラーマッチング／ディザリング処理が行われ、統一した色合いで印刷されます。文字やグラフィックの部分は［標準設定］と比べ明るめの印刷結果となります。

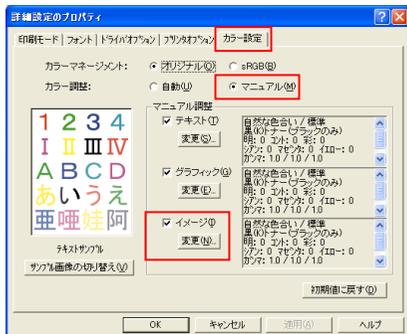
１７．Ｊｐｅｇ画像の圧縮のノイズなどが、目立たないように印刷したい。

利用可能機種	N5300	N5100	N5	N4-614	N4-612

SPEEDIA シリーズでは、写真等の画像（特に JPEG 画像）を印刷するとき、圧縮ノイズが目立たないような設定を行うことができます。
ここでは、実際にアプリケーションを使用し、ノイズが目立たないような設定で印刷を行ってみましょう。

《ポイント》【基本設定】→【詳細設定】→【カラー設定】より、カラー調整をマニュアルに設定し、【カラー調整（イメージ）】の「ディザリング」を設定します。

①アプリケーションより、「ファイル」→「印刷」をクリックします。プリンタ名で「CASIO SPEEDIA N5300」を選択し、「プロパティ」をクリックします。【基本設定】タブの画面が起動します。

【基本設定】タブの「印刷書式」より「▼」ボタンをクリックし、「写真・イメージ」を選択します。「詳細設定」をクリックします。

②【カラー設定】タブより、カラー調整を「マニュアル」に設定し、イメージの【変更】ボタンをクリックします。

③「ディザリング」を「階調優先」に設定します。

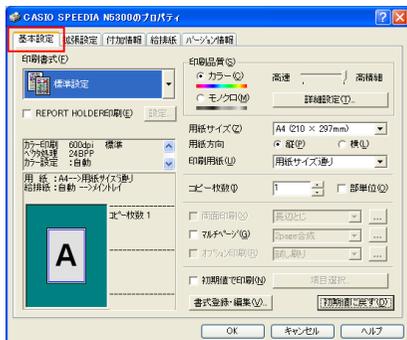
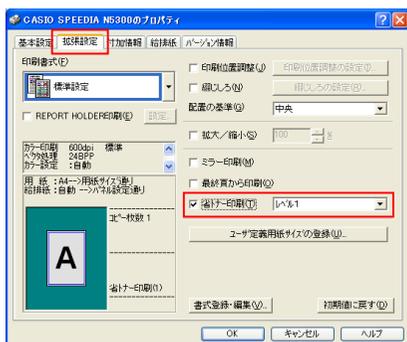
④【ＯＫ】ボタンをクリックし、アプリケーションより印刷を開始します。

《ディザリングを「階調優先」（「粗め」）に設定すると？》
階調性を重視した、多少粗めのパターンとなりますが、ムラが目立たなくなり、滑らかな階調性が得られます。

１８．トナーを節約して印刷したい。

利用可能機種	N5300	N5100	N5	N4-614	N4-612

SPEEDIA シリーズでは、試し印刷を行いとき等にトナーの消費量を削減して印刷することができます。
ここでは、実際に Microsoft Word2000 を使用し、トナーを削減して印刷を行ってみましょう。

《ポイント》【拡張設定】→【省トナー印刷】を設定します。

①Word2000 より、「ファイル」→「印刷」をクリックします。プリンタ名で「CASIO SPEEDIA N5300」を選択し、「プロパティ」をクリックします。
【基本設定】タブの画面が起動します。

②【拡張設定】タブをクリックします。
「省トナー印刷」を設定します。

＜レベル１＞
カラー印刷時約３０％、モノクロ印刷時約５０％のトナーを節約して印刷を行います。

＜レベル２＞
カラー印刷時約５０％、モノクロ印刷時約７０％のトナーを節約して印刷を行います。

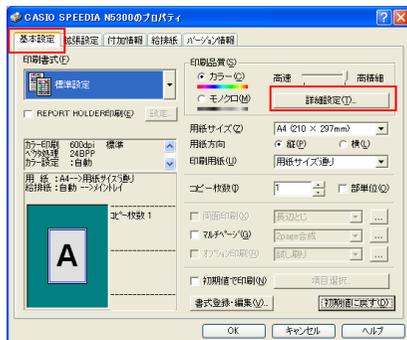
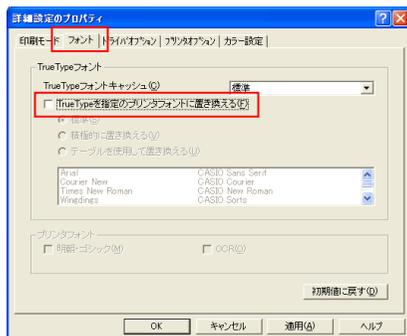
※上記節約の%値は、ソフトウェア処理上の目安です。
実際の節約量は様々な条件によって異なります。

《注意》
省トナー印刷と同等の機能として、「トナーセーブ」モードがあります。
（「基本設定」→「詳細設定」→「プリンタオプション」）
従って、同時に両方を設定することはできません。
両者の違いは、「トナーセーブ」はプリンタ本体側のハード的な処理で行い、「省トナー印刷」はプリンタドライバ側のソフトウェア的な処理で行うという違いがあります。

１９．Excel 等を画面でみた通りに印刷したい。

利用可能機種	N5300	N5100	N5	N4-614	N4-612

　SPEEDIA シリーズでは、TrueType フォントをパソコン画面どおりの表示で印刷できます。
　ここでは、実際に Microsoft Excel2000 を使用し、TrueType フォントで印刷を行ってみましょう。

《ポイント》【基本設定】→【詳細設定】→【フォント】タブより、「TrueType を指定のプリンタフォントに置き換える」のチェックをはずします。

①Excel2000 より、「ファイル」→「印刷」をクリックします。プリンタ名で「CASIO SPEEDIA N5300」を選択し、「プロパティ」をクリックします。
【基本設定】タブの画面が起動します。
【詳細設定】ボタンをクリックします。

②【フォント】タブを開きます。

「TrueType を指定のプリンタフォントに置き換える」のチェックを外します。

③【ＯＫ】ボタンをクリックし、Excel2000 より印刷を開始します。

＜参考＞

●【基本設定】タブの書式より、「写真・イメージ」を選択すれば、上記の手順を踏まなくても TrueType フォントで印刷できます。
（「写真・イメージ」の場合、印刷速度が下がります。（Ｐ４１参照）

●Windows で作成した外字が印刷されない場合、上記同様に「TrueType を指定のプリンタフォントに置き換える」のチェックを外す、または【基本設定】タブより、「画面プレビュー優先」の書式を選択して印刷すると改善される場合があります。

２０．厚紙を印刷したい。

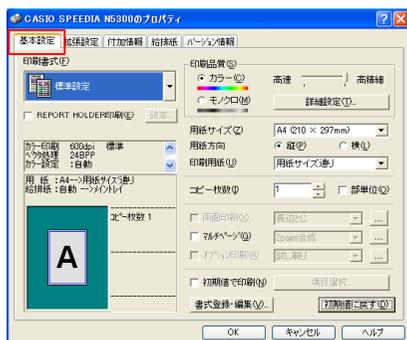
利用可能機種	N5300	N5100	N5	N4-614	N4-612

SPEEDIA シリーズでは、厚紙に印刷することができます。

	カセット給紙	MPF給紙
N5300	64g/㎡～157 g/㎡	64g/㎡～210 g/㎡
N5100	64g/㎡～157 g/㎡	64g/㎡～210 g/㎡
N5	64g/㎡～105 g/㎡	64g/㎡～157 g/㎡
N5-P	106g/㎡～128 g/㎡	64g/㎡～157 g/㎡
N4-614	60g/㎡～90g/㎡	60g/㎡～135 g/㎡
N4-614P	105g/㎡～157g/㎡	64g/㎡～157 g/㎡
N4-612Ⅱ	60g/㎡～90g/㎡	60g/㎡～135 g/㎡
N4-612ⅡP	105g/㎡～157g/㎡	64g/㎡～157 g/㎡

ここでは、実際に Microsoft Word2000 を使用し、厚紙を印刷してみましょう。

《ポイント》【給排紙】タブより、「紙種」を「厚紙」に設定します。
N5300／N5100 の場合、１５８～２１０ｇ/㎡は「ごく厚紙」に設定します。
「排紙位置」を「アッパートレイ（フェイスアップ）」に設定します。

《注意》１０６ｇ／㎡～２１０ｇ／㎡までの厚紙は、プリンタの紙送り方向に対して、Ｙ目（よこめ）のものをご使用ください。
用紙は裁断の方向により、Ｙ目とＴ目（たてめ）のものがあります。

①Word2000 より、「ファイル」→「印刷」をクリックします。プリンタ名で「CASIO SPEEDIA N5300」を選択し、「プロパティ」をクリックします。
【基本設定】タブの画面が起動します。

②【給排紙】タブの「紙種」を「厚紙」に変更します。
「給紙位置」は「ＭＰＦ」に、排紙位置は「アッパートレイ（フェイスアップ）」に設定して印刷することをお勧めします。

＜注意＞
N4-614／N4-612 はプリンタの排紙切替レバーを操作し、フェイスアップ排紙に切り替えてください。

③【ＯＫ】ボタンをクリックし、Word2000 より印刷を開始します。

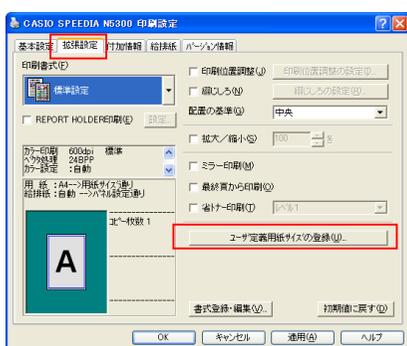
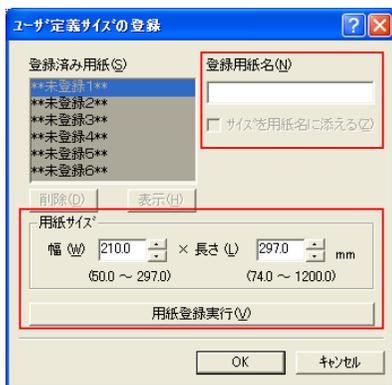
《厚紙印刷時の注意事項》
・両面印刷はできません。
・「紙種」を「厚紙」に設定しないと、トナーの定着が不完全になる場合があります。
「厚紙」モードで、トナーが剥がれやすい場合は、紙種を「厚紙２」（N5）もしくは「ごく厚紙」（N5300／N5100）に設定してお試しください。

２１．不定形サイズに印刷したい。

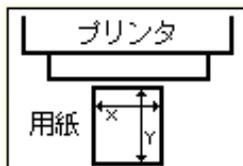
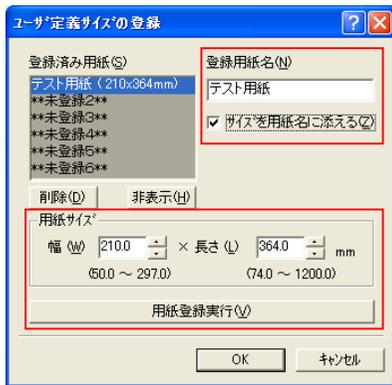
利用可能機種	N5300	N5100	N5	N4-614	N4-612

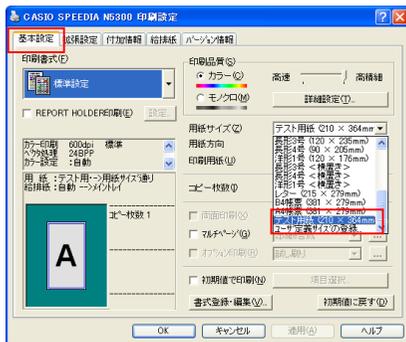
　SPEEDIA シリーズでは、任意の不定形サイズの用紙をあらかじめ６種類登録して使用することができます。
　ここでは、実際に Microsoft Word2000 を使用し、不定形サイズの登録及び印刷をしてみましょう。

《ポイント》あらかじめ名前をつけて登録した不定形サイズの用紙は、定形用紙サイズと同じように使用することができます。

①「スタート」メニューから「プリンタとＦＡＸ」を選択し、プリンタフォルダをを開き、N5300 プリンタドライバ画面を開きます。

②【拡張設定】タブを開き、「ユーザ定義サイズの登録」をクリックします。

③「ユーザ定義サイズの登録」画面が開きますので、任意の用紙サイズを設定（登録）します。

＜方法＞
(1)「登録済み用紙」から「**未登録１**」を選択します。
(2)「用紙サイズ」で幅、長さを入力します。
　（幅、長さについては下記参照）
(3)「登録用紙名」で登録するサイズに名前を設定します。
《注意》入力は、全角で２０文字まで可能ですが、［用紙サイズ］リスト上では、約１０文字程度しか表示されません。
(4) 最後に【用紙登録実行】ボタンをクリックします。

●同様の手順で６種類まで登録することができます。

幅（X）・・・プリンタの用紙給紙方向（用紙が進む方向）に対して垂直部分のサイズです。
長さ（Y）・・プリンタの用紙給紙方向（用紙が進む方向）に対して水平部分のサイズです。

④左図例では、「210×364mm」という用紙サイズに「テスト用紙」という名前をつけ、登録しています。

【非表示】・・登録済みのユーザ定義用紙の表示、非表示を設定します。表示状態となっている書式を選択している時、ボタンは［非表示］となり、ボタンを押すとその書式は非表示状態となってボタンは［表示］に変わります。

⑤【基本設定】タブの「用紙サイズ」に、「テスト用紙」というサイズが登録されています。

⑥Word2000 より、用紙サイズ（210×364mm）を設定します。

⑦Word2000 より、「ファイル」→「印刷」をクリックします。プリンタ名で「CASIO SPEEDIA N5300」を選択し、プロパティを開きます。
【基本設定】タブの画面が起動します。
「用紙サイズ」で「テスト用紙」を選択します。

⑧【給排紙】タブの「給紙位置」で「ＭＰＦ」に設定します。

⑨【ＯＫ】ボタンをクリックし、Word2000 より印刷を開始します。

２２．長尺紙に印刷したい。

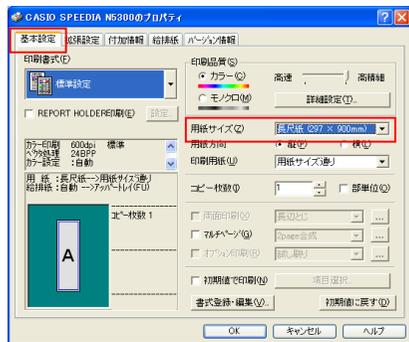
利用可能機種	N5300	N5100	N5	N4-614	N4-612

SPEEDIA シリーズでは、297×900mm（N5300／N5100 は 297×1200mm）までの長尺紙に印刷することができます。また、これらの用紙は登録されていますので、定形紙と同様に使用することができます。

＜あらかじめ登録されている長尺紙＞
・長尺紙（２９７mm×９００mm）
・長尺紙２（２９７mm×１２００mm）・・・N5300／N5100 のみ

《ポイント》
①【基本設定】タブで、「用紙サイズ」を設定します。
②【給排紙】タブで、「紙種」を設定します。
※105～157g/㎡の長尺紙は、紙種を「厚紙」に設定します。
※N5300／N5100 の場合、158～210g/㎡の長尺紙は、紙種を「ごく厚紙」に設定します。）
③給紙位置を「ＭＰＦ」、排紙位置を「アッパートレイ（フェイスアップ）」に設定します。（用紙サイズ、紙種によっては給紙／排紙位置が固定されます。）

例１）アプリケーションから、長尺紙（297×900mm）を印刷してみましょう。
（使用するアプリケーションによって、下記画面は異なる場合があります。）

①使用するアプリケーション上の用紙を「自由サイズ（297×900mm）」に設定します。
《注意》
上記サイズが作成できないアプリケーションでは、長尺紙を印刷することはできません。

②アプリケーションから印刷のプロパティを開きます。
（プリンタドライバの設定画面が開きます。）

用紙サイズで「長尺紙」を選択します。
用紙方向は必要に応じて設定します。

③【給排紙】タブより、以下の箇所を設定します。
- 「給紙位置」・・・「ＭＰＦ」
- 「紙種」・・・・・・「厚紙」
  （106～157g/㎡までの用紙は「厚紙」、
  158～210g/㎡までの用紙は「ごく厚紙」に
  設定してください。）
- 「排紙位置」・・・「アッパートレイ」
  （グレー表示され、変更できません。）

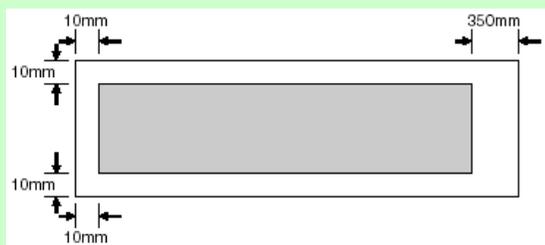
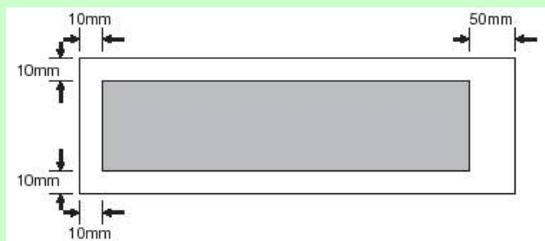
＜注意＞
N4-614／N4-612 では、プリンタの排紙切替レバーを操作し、フェイスアップ排紙に切り替えてください。

④ＭＰＦに長尺紙をセットします。

⑤【ＯＫ】ボタンをクリックし、アプリケーションから印刷を開始します。

《長尺紙印刷時の注意事項》

- 長尺紙は印刷ずれが発生しやすいため、用紙端からの余白を十分にとって印刷をしてください。

＜297×1200mm の場合＞
先端と左右を 10mm 以上、後端を 350mm 以上。
後端から 350mm は画像保証の対象外です。

＜297×900mm の場合＞
先端と左右を 10mm 以上、後端を 50mm 以上。

２３．封筒を印刷したい。（横置き）

利用可能機種	N5300	N5100	N5	~~N4-614~~	~~N4-612~~

SPEEDIA シリーズでは、下記封筒の種類をＭＰＦに横置きにセットして印刷することができます。

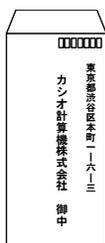
＜横置き給紙が可能な封筒＞

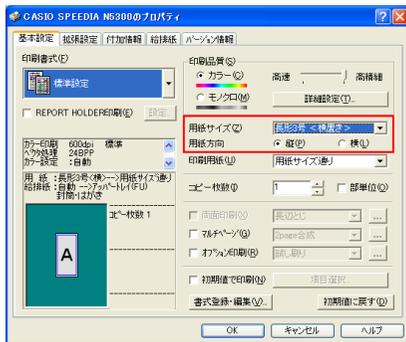
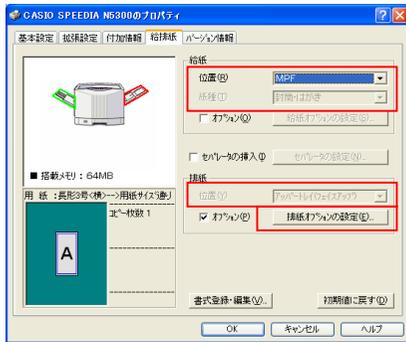
・封筒－長形３号（１２０×２３５mm）
・封筒－長形４号（９０×２０５mm）
・封筒－洋形１号（１２０×１７６mm）

ここでは、実際に Microsoft Word2000 を使用し、封筒を横置きに給紙して印刷を行ってみましょう。

《ポイント》【基本設定】タブ→「用紙サイズ」で、「＊＊＊＊＜横置き＞」のサイズを選択します。（＊＊＊＊には名称、サイズが入ります。）
または、アプリケーション側の「用紙サイズ」で、「＊＊＊＊＜横置き＞」のサイズを選択します。（このサイズは、N5300／N5100／N5 以外のプリンタでは表示されません。「通常使うプリンタ」を「CASIO SPEEDIA N5300」（または N5100、N5）に設定してご利用ください。

《注意》長形封筒ではフラップを開いて、洋形封筒ではフラップを閉じて、ともに郵便番号欄が給紙方向左側にくるようにＭＰＦにセットして印刷します。

例）長形３号の封筒に下記イメージで印刷する場合。

①Word2000 の「ファイル」→「ページ設定」の「用紙サイズ」タブより、「用紙サイズ」で「長形３号＜横置き＞」を選択します。

②Word2000 より、「ファイル」→「印刷」をクリックします。プリンタ名で「CASIO SPEEDIA N5300」を選択し、「プロパティ」をクリックします。
【基本設定】タブの画面が起動します。

③「用紙サイズ」で「長形３号＜横置き＞」を
　選択します。
　上記サイズを選択すると、【給排紙】タブの
　　・紙種・・・封筒・はがき
　　・排紙位置
　　　　　・・・アッパートレイ（フェイスアップ）
　に固定されます。
　用紙方向は「縦」に設定します。

④【給排紙】タブで、給紙位置を「ＭＰＦ」に設定
　します。
　前頁の印刷イメージに合うように、排紙方向を変更
　します。
　【排紙オプションの設定】をクリックします。

⑤「排紙方向の切り替え」を変更します。

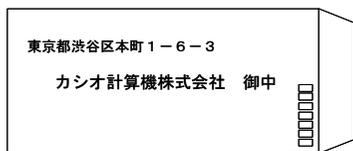
　・排紙方向・・・マニュアル設定
　・ポートレートのリバース印字
　　　　　・・・しない
　・ランドスケープのリバース印字
　　　　　・・・しない

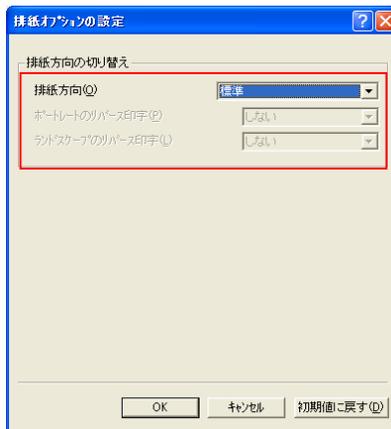
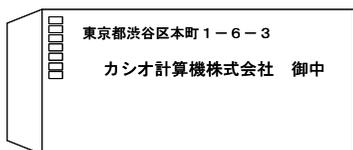
⑥封筒をＭＰＦにセットします。
　封筒の種類によって、下記図のようにセットします。

《注意》
洋形封筒の場合、開封口を下に向けて、セットしてください。

⑦【ＯＫ】ボタンをクリックし、Word2000 より印刷を開始します。

★下記印刷イメージに対する、「排紙方向」の設定について

【印刷イメージ１】

【給排紙】タブ→「排紙オプションの設定」

●用紙セット方向・・・前頁⑥参照
●用紙方向・・・横
●排紙方向・・・標準

【印刷イメージ２】

【給排紙】タブ→「排紙オプションの設定」

●用紙セット方向・・・前頁⑥参照
●用紙方向・・・横
●排紙方向・・・マニュアル設定
ﾎﾟｰﾄﾚｰﾄのﾘﾊﾞｰｽ印字・・・しない
ﾗﾝﾄﾞｽｹｰﾌﾟのﾘﾊﾞｰｽ印字・・・しない

《注意》
角形２号などの大きい封筒に印刷するときは、前頁のように封筒を横置きにセットできませんので、縦置きにセットしてください。
その際、フラップの部分を手前にしてセットしてください。
また、角形２号の封筒を印刷するときは、「紙種」の設定を「封筒２」（N5300／N5100 の場合）に設定して、印刷を行ってください。
（「封筒・はがき」の場合、シワが発生することがあります。）

２４．はがきを印刷したい。

利用可能機種	N5300	N5100	N5	N4-614	N4-612

SPEEDIA シリーズでは、はがきをＭＰＦにセットして印刷することができます。
ここでは、実際に Microsoft Word2000 を使用し、封筒を横置きに給紙して印刷を行ってみましょう。

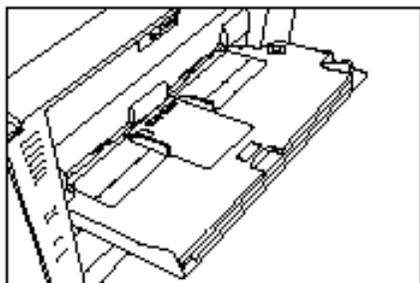
《ポイント》【給排紙】タブで、「紙種」を「封筒・はがき」に設定します。

①使用するアプリケーション上の用紙サイズを「はがき」に設定します。
（詳細は各アプリケーションの説明書をご覧ください。）

②アプリケーションから印刷のプロパティを開きます。
（プリンタドライバの設定画面が開きます。）

用紙サイズで「はがき」を選択します。

③【給排紙】タブをクリックし、「給紙」の「紙種」より「封筒・はがき」を選択します。
紙種を変更すると、自動的に給紙位置、排紙位置が変更されます。

・「給紙位置」・・・「ＭＰＦ」
（グレー表示され、変更できません。）
・「排紙位置」・・・「アッパートレイ」
（メイントレイからは排紙しないでください。）

④印刷したい面を上にしてＭＰＦにはがきを縦置きにセットします。（左図参照）

⑤【ＯＫ】ボタンをクリックし、アプリケーションから印刷を開始します。

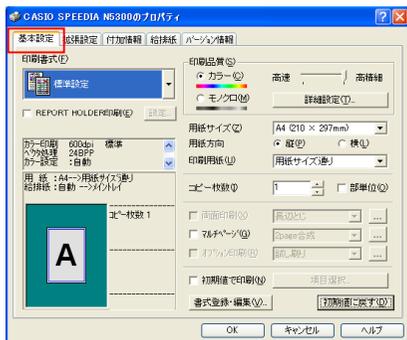
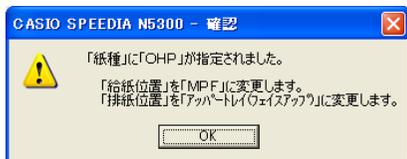
２５．ＯＨＰシートを印刷時、間に白紙をはさんで印刷したい。

利用可能機種	N5300	N5100	N5	N4-614	N4-612

SPEEDIA シリーズでは、複数のＯＨＰシートを印刷時、ＯＨＰシートの間に白紙を挿入することや、コピーを印刷することができます。（セパレータの挿入）
ここでは、実際に Microsoft Word2000 を使用し、セパレータを挿入してみましょう。

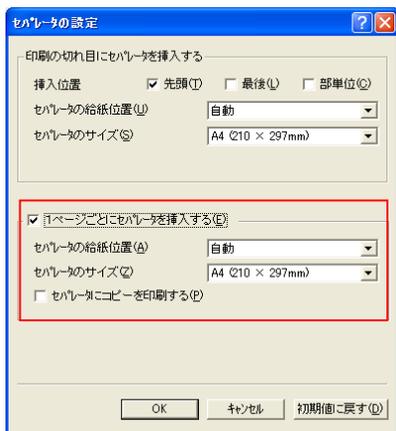
《ポイント》【給排紙】タブより、「紙種」を「ＯＨＰ」に設定します。
【給排紙】タブで、「セパレータの挿入」にチェックをいれ、設定を行います。

《注意》ＯＨＰシートは、必ず専用のＯＨＰシートをご利用ください。
「Ｎ－ＯＨＰＳ」（Ａ４／５０枚入り）・・・￥４，５００
指定以外のＯＨＰシートへの印刷は保証できません。

①Microsoft Word2000 より、用紙サイズをＡ４に設定します。

②Word2000 より、「ファイル」→「印刷」をクリックします。プリンタ名で「CASIO SPEEDIA N5300」を選択し、「プロパティ」をクリックします。
【基本設定】タブの画面が起動します。

③【給排紙】タブの「紙種」を「ＯＨＰ」に変更します。
左図画面が表示され、「給紙位置」、「排紙位置」が自動的に変更されます。
給紙位置・・・ＭＰＦ
排紙位置・・・アッパートレイ（フェイスアップ）
（上記はグレー表示され、変更できません。）

＜注意＞
N4-614／N4-612 では、プリンタの排紙切替レバーを操作し、フェイスアップ排紙に切り替えてください。

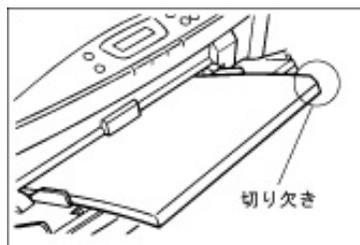
「セパレータの挿入」にチェックを入れ、
【セパレータの挿入】をクリックします。

《注意》ＯＨＰシートはＭＰＦ以外から給紙することはできません。

④「セパレータの設定」より、「１ページごとにセパレータを挿入する」にチェックを入れます。

●「セパレータの給紙位置」、「セパレータのサイズ」は、初期値のまま変更する必要はありません。

●「セパレータにコピーを印刷する」にチェックを入れると、セパレータ用紙にＯＨＰシートの内容をコピーして印刷することができます。

⑤ＯＨＰシートをＭＰＦにセットします。
ＯＨＰシートには、裏／表がありますので、下記図のようにセットします。

＜N5300／N5100／N5 の場合＞

＜N4-614／N4-612 の場合＞

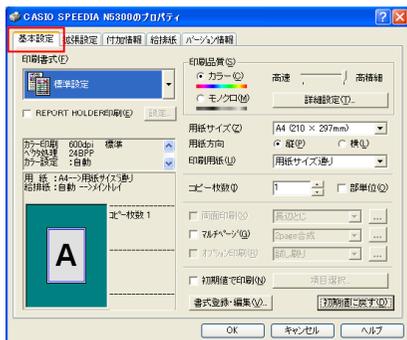
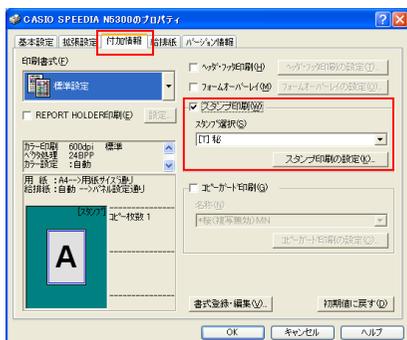
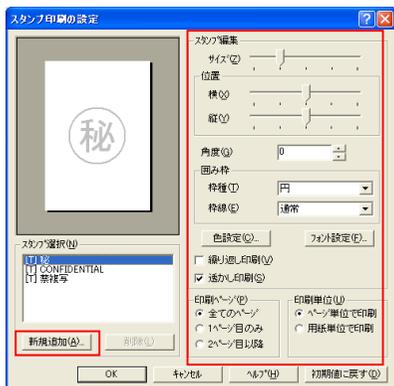
⑥【ＯＫ】ボタンをクリックし、Word2000 より印刷を開始します。
ＯＨＰシートは、ＭＰＦから給紙され、セパレータはカセットから給紙されます。

２６．印刷物に会社のロゴや「CONFIDENTIAL」のようなスタンプを付加したい。また繰り返すことで地紋のようにしたい。

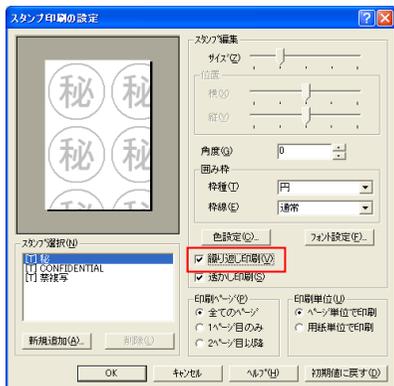
利用可能機種	N5300	N5100	N5	N4-614	N4-612

SPEEDIA シリーズでは、アプリケーションからの印刷とは別に、「秘」、「CONFIDENTIAL」等のスタンプを付加して印刷することができます。

ここでは、実際に Microsoft Word2000 を使用し、スタンプを付加した印刷を行ってみましょう。

《ポイント》【付加情報】タブより、「スタンプ印刷」のチェックを入れ、スタンプ設定を行います。

①Word2000 より、「ファイル」→「印刷」をクリックします。プリンタ名で「CASIO SPEEDIA N5300」を選択し、「プロパティ」をクリックします。
【基本設定】タブの画面が起動します。

②【付加情報】タブの「スタンプ印刷」にチェックを入れます。
「スタンプ選択」より印刷したいスタンプ名を選択します。
スタンプの大きさ、色、新規文字追加、ビットマップを貼り付けたいとき等は、【スタンプ印刷の設定】ボタンをクリックします。

③「スタンプ印刷の設定」より各種設定を行います。

● 「サイズ」、「位置」、「角度」等、様々な設定が行えます。

●新規にテキストを作成したい場合や、ビットアップファイルを貼り付けたい場合は、【新規追加】ボタンをクリックして行います。

●「繰り返し印刷」にチェックを入れると、文字・イメージを繰り返して印刷を行う、地紋印刷機能として使用できます。

④【ＯＫ】ボタンをクリックし、Word2000 より印刷を開始します。

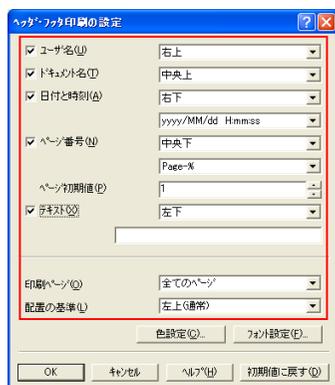
２７．印刷物に印刷した人の名前や日時、ページ番号などを付加したい。

利用可能機種	N5300	N5100	N5	N4-614	N4-612

SPEEDIA シリーズでは、印刷する文書にヘッダやフッタとして、様々な情報（ユーザ名、ドキュメント名、日付時刻、ページ番号等）を付加し印刷することができます。
ここでは、実際に Microsoft Word2000 を使用し、ヘッダ・フッタを付加して印刷を行ってみましょう。

《ポイント》【付加情報】タブの「ヘッダ・フッタ印刷」にチェックを入れ、【ヘッダ・フッタ印刷の設定】より行います。

①Word2000 より、「ファイル」→「印刷」をクリックします。プリンタ名で「CASIO SPEEDIA N5300」を選択し、「プロパティ」をクリックします。
【基本設定】タブの画面が起動します。

②【付加情報】タブより、「ﾍｯﾀﾞ･ﾌｯﾀ印刷」にチェックを入れ、【ﾍｯﾀﾞ･ﾌｯﾀ印刷の設定】ボタンをクリックします。

③【ﾍｯﾀﾞ･ﾌｯﾀ印刷の設定】より、付加したい情報にチェックを入れ、「印刷する位置」を指定します。
左図の画面では、すべての情報を付加する設定を行っています。

④【ＯＫ】ボタンをクリックし、Word2000 より印刷を開始します。

《注意》WindowsNT4.0 では、［描画モード］が［ラスタ処理］の場合と、マルチページ［分割］が設定されている場合は、利用できません。

２８．ネットワークの負荷を下げるべく、スプールサイズをなるべく小さく印刷したい。

利用可能機種	N5300	N5100	N5	N4-614	N4-612

SPEEDIA シリーズでは、ネットワークの環境に負荷をかけないよう、できるだけファイルのスプールサイズを小さくして印刷することができます。

ここでは、実際に Microsoft Word2000 より、スプールサイズを小さくする設定で印刷を行ってみましょう。

《ポイント》【基本設定】→【詳細設定】→【印刷モード】より、「イメージ展開モード」を設定します。

①Word2000 より、「ファイル」→「印刷」をクリックします。プリンタ名で「CASIO SPEEDIA N5300」を選択し、「プロパティ」をクリックします。
【基本設定】タブの画面が起動します。
【詳細設定】をクリックします。

②【印刷モード】タブより「イメージ展開モード」を、「プリンタ展開」、「スプールサイズ優先」に設定します。

③【ＯＫ】ボタンをクリックし、Word2000 より印刷を開始します。

《イメージ展開モード「プリンタ展開」とは？》
イメージデータの展開をプリンタ側で行います。イメージデータをそのままプリンタに出力しプリンタ側で拡大･縮小及びディザ処理を行います。高精細で大きなイメージデータの印刷の際に指定すると著しく印刷に時間がかかる場合があります。

２９．独自の設定を書式として登録し、ワンタッチで呼び出せるようにしたい。

利用可能機種	N5300	N5100	N5	N4-614	N4-612

SPEEDIA シリーズでは、お客様がよくご使用になるドライバ設定を印刷書式に登録して使用することができます。（８種類まで登録できます。）

例えば、よく使用する不定形用紙の印刷、マルチページ印刷、スタンプ印刷等をあらかじめ印刷書式に登録し、印刷するときはその書式を選択することで、印刷を行うことができます。

ここでは、実際に印刷書式に登録してみましょう。

例１）マルチページ２page 合成を印刷書式に登録する。

①Ｐ３０を参照し、「２page 合成」を設定します。

②【基本設定】タブを選択します。

【書式登録・編集】ボタンをクリックします。

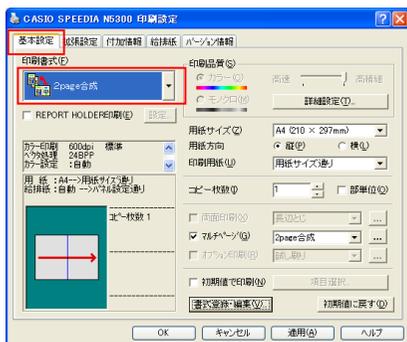
③左側の書式をスクロールして、「**未登録１**」を選択します。

④登録する「書式名」を入力します。
（ここでは「２page 合成」と入力しています。）

必要に応じて、「書式の概要」、「アイコン」を設定します。

最後に【書式登録実行】ボタンをクリックします。

⑤左側の印刷書式に「２page 合成」が登録されます。

【ＯＫ】をクリックします。

⑥【基本設定】タブの書式に、「２page 合成」が
登録されます。

例２）スタンプ印刷（【付加情報】タブの内容）を印刷書式に登録する。

①Ｐ５６を参照し、印刷に付加したいスタンプを作成します。

②【基本設定】タブを選択します。

【書式登録・編集】ボタンをクリックします。

③左側の書式をスクロールして、「**未登録２**」を選択します。

④登録する「書式名」を入力します。

（ここでは「スタンプ印刷（秘）」と入力しています。）

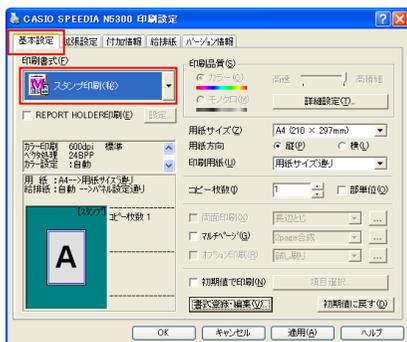
必要に応じて、「書式の概要」、「アイコン」を設定します。

【書式登録対象選択】ボタンをクリックします。

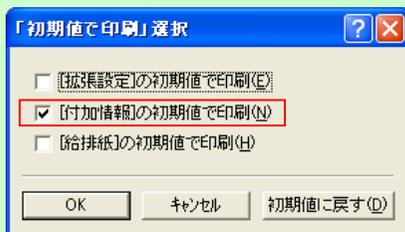
⑤「書式登録対象選択」画面より、「[付加情報]の設定を登録する」にチェックを入れます。

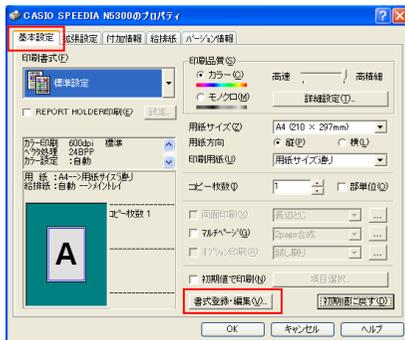
【ＯＫ】をクリックします。

⑥【書式登録実行】ボタンをクリックすると、
左側の印刷書式に「スタンプ印刷（秘）」が登録されます。

【ＯＫ】をクリックします。

⑦【基本設定】タブの書式に、「スタンプ印刷（秘）」が登録されます。

《付加情報を登録する際の注意事項》

「標準書式」等、他の書式の付加情報にも影響します。
その時は【基本設定】タブの「初期値で印刷」にチェックをいれ、【項目選択】内で設定することにより、回避することができます。

例３）厚紙印刷（【給排紙】タブの内容）を印刷書式に登録する。

①Ｐ４５を参照し、厚紙に印刷する書式を作成します。
（推奨：「給紙位置」→ＭＰＦ、「紙種」→厚紙、「排紙位置」→アッパートレイ）

②【基本設定】タブを選択します。

【書式登録・編集】ボタンをクリックします。

③左側の書式をスクロールして、「**未登録３**」を選択します。

④登録する「書式名」を入力します。
（ここでは「厚紙印刷」と入力しています。）

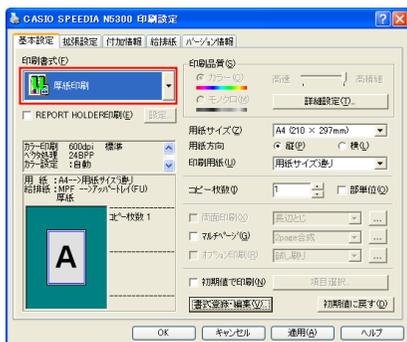
必要に応じて、「書式の概要」、「アイコン」を設定します。

【書式登録対象選択】ボタンをクリックします。

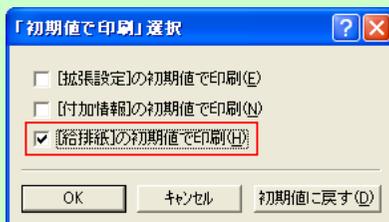
⑤「書式登録対象選択」画面より、「[給排紙]の設定を登録する」にチェックを入れます。

【ＯＫ】をクリックします。

⑥【書式登録実行】ボタンをクリックすると、
左側の印刷書式に「厚紙印刷」が登録されます。

【ＯＫ】をクリックします。

⑦【基本設定】タブの書式に、「厚紙印刷」が登録
されます。

《給排紙を登録する際の注意事項》

「標準書式」等、他の書式の給排紙にも影響します。
その時は【基本設定】タブの「初期値で印刷」にチェックをいれ、【項目選択】内で設定することにより、回避することができます。

例４）不定形サイズの印刷を印刷書式に登録する。

①Ｐ４６を参照し、不定形サイズの用紙を「用紙サイズ」に作成します。

②【基本設定】タブを選択します。

【書式登録・編集】ボタンをクリックします。

③左側の書式をスクロールして、「**未登録４**」を選択します。

④登録する「書式名」を入力します。
（ここでは「不定形サイズ印刷」と入力しています。）

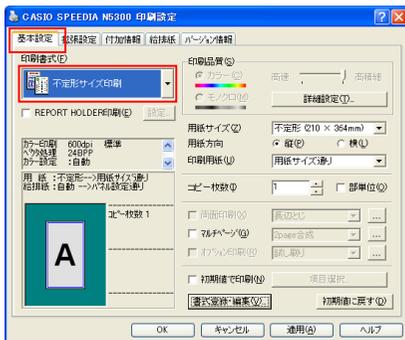
必要に応じて、「書式の概要」、「アイコン」を設定します。

【書式登録対象選択】ボタンをクリックします。

⑤「書式登録対象選択」画面より、「[基本設定]の登録しない設定」の「用紙サイズ／用紙方向／コピー枚数」のチェックを外します。

【ＯＫ】をクリックします。

⑥【書式登録実行】ボタンをクリックすると、
左側の印刷書式に「不定形サイズ印刷」が登録
されます。

【ＯＫ】をクリックします。

⑦【基本設定】タブの書式に、「不定形サイズ印刷」
が登録されます。

《用紙サイズを登録する際の注意事項》
「標準書式」等、他の書式の用紙サイズにも影響します。
（ドライバの用紙サイズと用紙方向の設定が、アプリケーション側の文書書式に影響する場合がありますのでここのチェックをはずして登録した書式を使用する場合は注意が必要です。）

＜参考＞
●登録した書式を削除するには、【書式登録・編集】ボタンをクリックし、必要のない書式を選択後、【削除】ボタンをクリックします。

３０．登録した書式をファイルに保存し、他のパソコンに簡単にインストールできるようにしたい。

利用可能機種	N5300	N5100	N5	N4-614	N4-612

SPEEDIA シリーズでは、登録した書式をファイルに保存することができます。
保存された書式ファイルは、別のパソコンのプリンタドライバに読み込み、同じように使用することができます。
ここでは、前頁までに登録した４種類の書式をファイルに保存し、別のパソコンに読み込んでみましょう。

①「スタート」メニューの「設定」から「プリンタ」を選択し、プリンタフォルダをを開き、N5300 のプリンタドライバ画面を開きます。

②【基本設定】タブを選択します。

【書式登録・編集】ボタンをクリックします。

③【ファイル保存】をクリックします。

※書式を読み込むときは、【ファイル読込】を選択します。

④ファイル名を入力し、【保存】をクリックします。

※書式を読み込むときは、ファイル名を指定し、【開く】を選択します。

⑤書式のファイルが保存されます。

《書式保存時の注意事項》
環境設定を含め、ドライバの全ての設定内容が保存されます。
《書式読込時の注意事項》
現在のドライバの状態（登録した書式やアイコンを含む）は、すべてクリアされます。
異なるプリンタ機種用の書式登録保存ファイル（CPC ﾌｧｲﾙ）は読み込めません。

３１．必要のない書式を非表示にしたい。

利用可能機種	N5300	N5100	N5	N4-614	N4-612

SPEEDIA シリーズでは、書式を自由に表示したり、非表示にすることができます。
ここでは、前頁までに登録した４種類の書式だけを表示するようにしてみましょう。

①【基本設定】タブを選択します。

【書式登録・編集】ボタンをクリックします。

②あらかじめ登録されている、「標準書式」、「写真・イメージ」、「プレゼンテーション」、「画面プレビュー優先」を【非表示】ボタンをクリックし非表示にします。

【ＯＫ】ボタンをクリックします。

③左図のように、４つだけ表示された印刷書式が出来上がります。

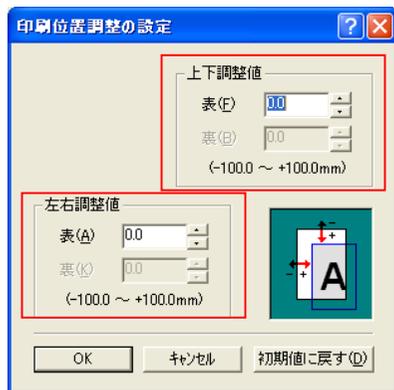
３２．印刷位置を０．１mm単位で微調整したい。

利用可能機種	N5300	N5100	N5	N4-614	N4-612

SPEEDIA シリーズでは、プレプリント用紙等の印刷を行うとき、印刷位置を調整することができます。
ここでは、実際にプレプリント用紙を印刷するアプリケーションを使用し、印刷位置の調整を行ってみましょう。

《ポイント》【拡張設定】タブの「印刷位置調整」にチェックを入れ、【印刷位置調整の設定】より行います。
両面印刷時は裏面の印刷位置も調整できます。

①アプリケーションから印刷画面を選択します。
プリンタ名で「CASIO SPEEDIA N5300」を選択し、「プロパティ」をクリックします。
【基本設定】タブの画面が起動します。

②【拡張設定】タブより、「印刷位置調整」にチェックを入れ、【印刷位置調整の設定】ボタンをクリックします。

③「上下調整値」、「左右調整値」ともに「-100.0～+100.0mm」の範囲で調整することができます。

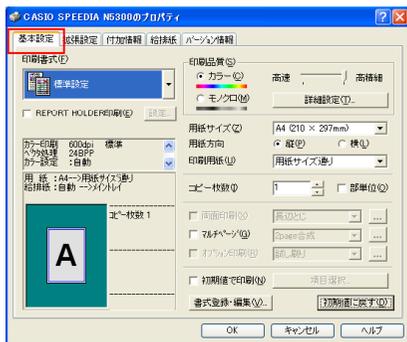
「上下調整値」（「左右調整値」）
上下（左右）の方向は、排紙方向からみた物理的な方向ではなく、論理的（用紙方向：縦／横が基準）に見た方向です。

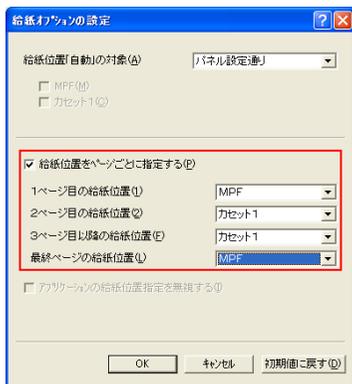
④【ＯＫ】ボタンをクリックし、アプリケーションより印刷を開始します。

３３．ページごとに給紙位置を切り替えて印刷したい。

利用可能機種	N5300	N5100	N5	N4-614	N4-612

SPEEDIA シリーズでは、ページごとに給紙位置を切り替えて印刷することができます。
例えば、ＭＰＦトレイに色紙、カセット２に普通紙をセットしておけば、表紙（色紙）、本文（普通紙／白紙）、裏表紙（色紙）などの印刷が一度に可能になります。
ここでは、実際に Microsoft Word2000 を使用し、上記例に基づき給紙位置を切り替えて印刷してみましょう。

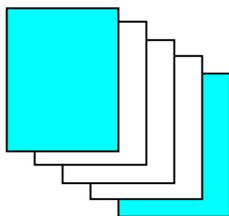
《ポイント》【給排紙】タブの給紙の「オプション」にチェックを入れ、「給紙オプションの設定」より行います。

①Word2000 より、「ファイル」→「印刷」をクリックします。プリンタ名で「CASIO SPEEDIA N5300」を選択し、「プロパティ」をクリックします。
【基本設定】タブの画面が起動します。

②【給排紙】タブより、給紙の「オプション」にチェックを入れ、【給紙オプションの設定】ボタンをクリックします。

③「給紙位置をページごとに指定する」にチェックを入れ、各ページの給紙位置を指定します。
上記例の場合、
１ページ目（色紙）・・・・・ＭＰＦ
２ページ目（普通紙）・・・・カセット１
３ページ目以降（普通紙）・・カセット１
最終ページ（色紙）・・・・・ＭＰＦ

【ＯＫ】をクリックし、戻ります。

④【給排紙】タブの「給紙位置」はグレー表示され、設定できなくなります。
（<給紙オプション通り>となります。）

⑤【ＯＫ】ボタンをクリックし、Word2000 より印刷を開始します。

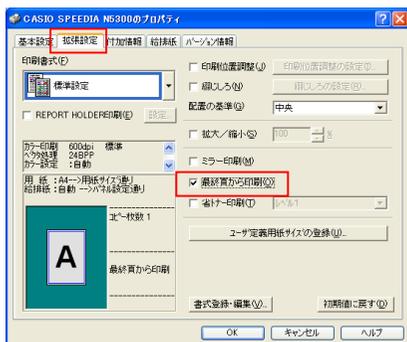
⑥下記のようなイメージで印刷されます。

３４．アッパートレイ排紙時、ページ順を揃えて排紙したい。

利用可能機種	N5300	N5100	N5	N4-614	N4-612

SPEEDIA シリーズでは、厚紙、はがき、ＯＨＰシート等、アッパートレイ（フェイスアップ）の排紙を前提とした印刷において、複数ページ排紙されたものを後から揃えるのではなく、あらかじめページ順に排紙することができます。

ここでは、実際に Microsoft Word2000 を使用し、厚紙の印刷をフェイスアップで排紙し、ページ順に揃えて印刷してみましょう。

《ポイント》【印刷書式】タブの「最終頁から印刷」にチェックを入れます。

①Word2000 より、「ファイル」→「印刷」をクリックします。プリンタ名で「CASIO SPEEDIA N5300」を選択し、「プロパティ」をクリックします。
【基本設定】タブの画面が起動します。

②【拡張設定】タブをクリックし、「最終頁から印刷」にチェックを入れます。

③【給排紙】タブより、以下の項目を設定します。
給紙位置・・・「ＭＰＦ」
紙種・・・・・・「厚紙」
排紙位置・・・「アッパートレイ（フェイスアップ）」

＜注意＞
N4-614／N4-612 では、プリンタの排紙切替レバーを操作し、フェイスアップ排紙に切り替えてください。

④【ＯＫ】ボタンをクリックし、Word2000 より印刷を開始します。
複数頁の印刷が最終頁からページ順に揃って印刷（排紙）されます。

《「最終頁から印刷」をする際の注意事項》
いったん全ての印刷データをパソコン側で保持することになり、システムに非常に負荷がかかる場合がありますので注意が必要です。

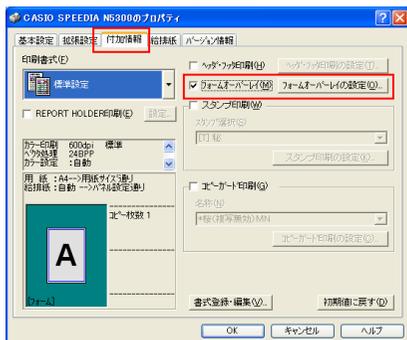
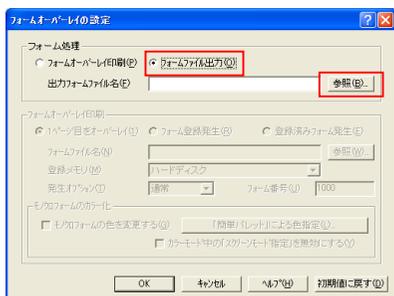
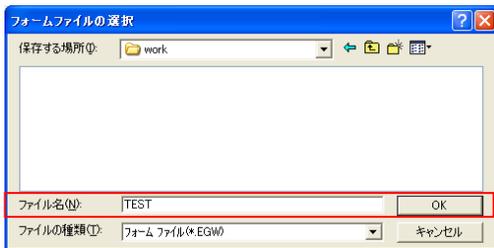
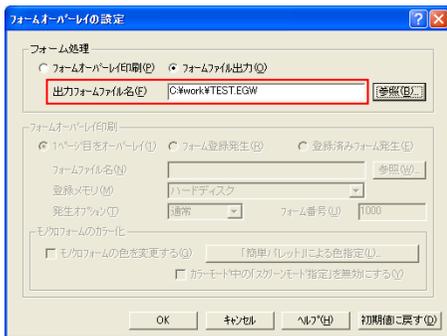
３５．アプリケーションの印刷データから、オーバレイ用の
フォームファイルを生成したい。

利用可能機種	N5300	N5100	N5	N4-614	N4-612

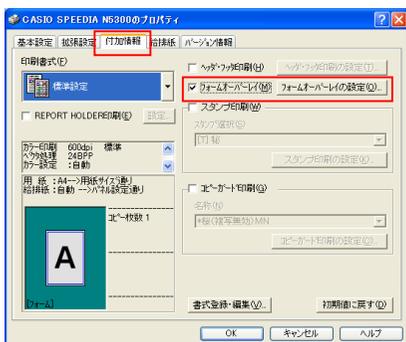
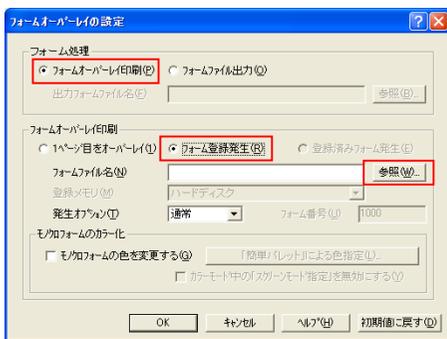
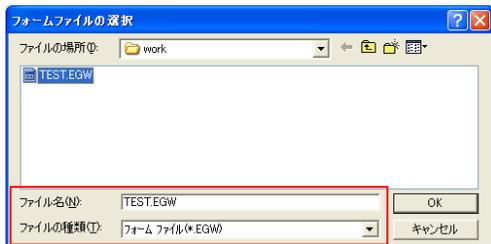
SPEEDIA シリーズでは、アプリケーションの印刷データをフォームとして保存し、そのファイルを使用し、フォームオーバレイ印刷を行うことができます。
ここでは、実際にアプリケーションからフォームを作成し、印刷データとフォームオーバレイ印刷をしてみましょう。

《ポイント》【付加情報】タブより、「フォームオーバーレイ」のチェックを入れ、設定を行います。

①アプリケーションからフォームとして登録したい印刷データを作成します。

②アプリケーションから印刷画面を選択します。
プリンタ名で「CASIO SPEEDIA N5300」を選択し、「プロパティ」をクリックします。
【基本設定】タブの画面が起動します。

③【付加情報】タブより、「フォームオーバレイ」にチェックを入れ、【フォームオーバレイの設定】ボタンをクリックします。

④「フォーム処理」より、「フォームファイル出力」を選択します。
【参照】ボタンをクリックし、ファイル名を指定します。

⑤ここでは、「TEST」という名前で作成しています。
【OK】ボタンをクリックします。

⑥「出力フォームファイル名」にファイル名が指定されます。
【OK】ボタンをクリックします。

⑦アプリケーションから印刷を行います。(保存と同時に印刷もされます。)

⑧オーバレイするデータを作成します。

⑨【付加情報】タブより、「フォームオーバレイ」にチェックを入れ、【フォームオーバレイの設定】ボタンをクリックします。

⑩「フォーム処理」より、「フォームオーバレイ印刷」を選択します。
「フォームオーバレイ印刷」より、「フォーム登録発生」を選択し、【参照】ボタンをクリックします。

⑪「ファイルの種類」で「*.EGW」を選択し、作成したフォーム名を指定します。

⑫「フォームファイル名」に「Test.egw」というフォームが指定されます。
【ＯＫ】ボタンをクリックします。

⑬【ＯＫ】ボタンをクリックし、アプリケーションより印刷を開始します。

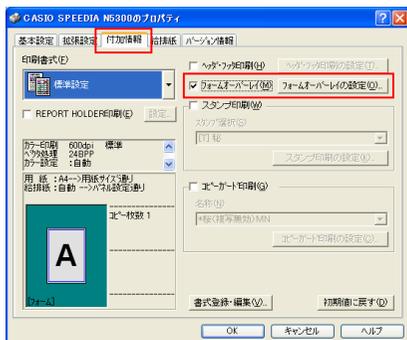
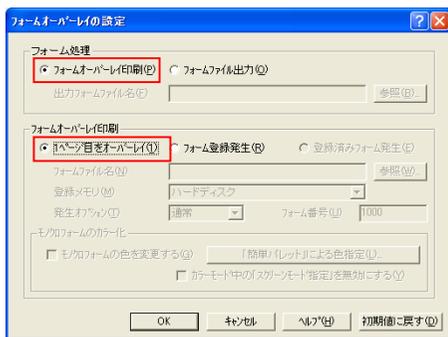
３６．アプリケーションの印刷データの１ページ目をフォームとしてプリンタに登録し、残りのページにオーバレイ印刷したい。

利用可能機種	N5300	N5100	N5	N4-614	N4-612

SPEEDIA シリーズでは、アプリケーションで作成した１ページ目の印刷データをフォームとして登録し、１ページ目のデータを２ページ目以降にオーバレイすることもできます。
ここでは、実際にアプリケーションから１ページ目の印刷データを２ページ目以降にオーバレイ印刷をしてみましょう。

《ポイント》【付加情報】タブより、「フォームオーバーレイ」のチェックを入れ、設定を行います。

①アプリケーションから印刷データを作成します。

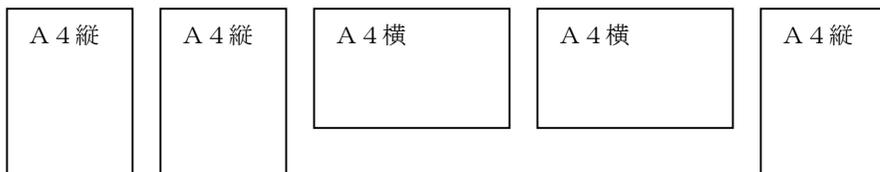
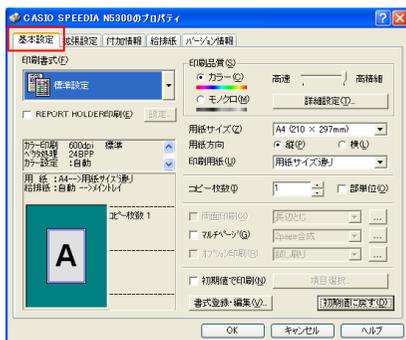
②アプリケーションから印刷画面を選択します。
プリンタ名で「CASIO SPEEDIA N5300」を選択し、「プロパティ」をクリックします。
【基本設定】タブの画面が起動します。

③【付加情報】タブより、「フォームオーバレイ」にチェックを入れ、【フォームオーバレイの設定】ボタンをクリックします。

④「フォーム処理」より、「フォームオーバレイ印刷」を設定します。
「フォームオーバレイ印刷」より、「１ページ目をオーバレイ」を設定します。

⑤【ＯＫ】ボタンをクリックし、アプリケーションより印刷を開始します。

３７．用紙方向や用紙サイズが異なる用紙の排紙方向を揃えて印刷したい。

SPEEDIA シリーズでは、用紙方向や用紙サイズが異なる用紙を複数ページ印刷する場合、排紙された印刷物の方向を特に意識することなく、そのまま綴じることができます。

ここでは次のような構成で作成されている Microsoft Word2000 の５頁物の文書を、排紙方向を揃えて印刷してみましょう。

Ａ４縦	Ａ４縦	Ａ４横	Ａ４横	Ａ４縦

《ポイント》【給排紙】タブの排紙の「オプション」にチェックを入れ、「排紙オプションの設定」より行います。

①Word2000 より、「ファイル」→「印刷」をクリックします。プリンタ名で「CASIO SPEEDIA N5300」を選択し、「プロパティ」をクリックします。

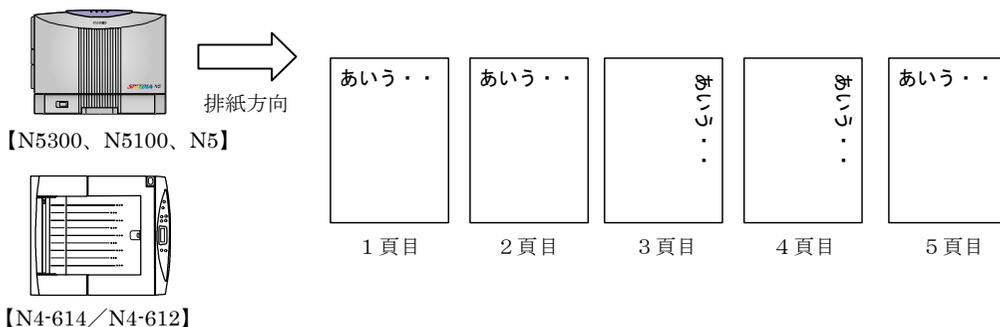
【基本設定】タブの画面が起動します。

②【給排紙】タブより、排紙の「オプション」にチェックを入れ、【排紙オプションの設定】ボタンをクリックします。

③「排紙方向の切り替え」の「排紙方向」を「互換」または「パネル設定通り」に設定します。

※N4-614、N4-612 は初期値が「パネル設定通り」のため変更する必要はありません。

④【ＯＫ】ボタンをクリックし、Word2000 より印刷を開始します。

⑤下記のようなイメージで印刷されます。

上記印刷イメージは、メイントレイ（フェイスダウン）で排紙された印刷物を左右にめくったものです。
（N5300、N5100、N5 は正面向かって右側にたったときに、N4-614／N4-612 は正面にたったときのものです。）

★排紙方向を設定した場合の各用紙サイズ／用紙方向による排紙方向

●「標準」（N5300、N5100、N5：初期値）に設定した場合。

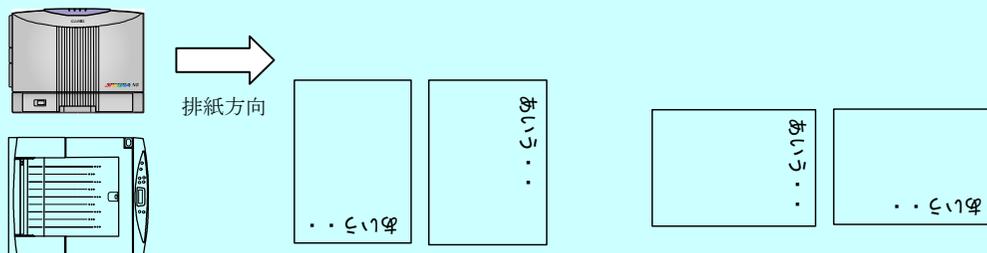
＜注意＞N4-612 では設定できません。

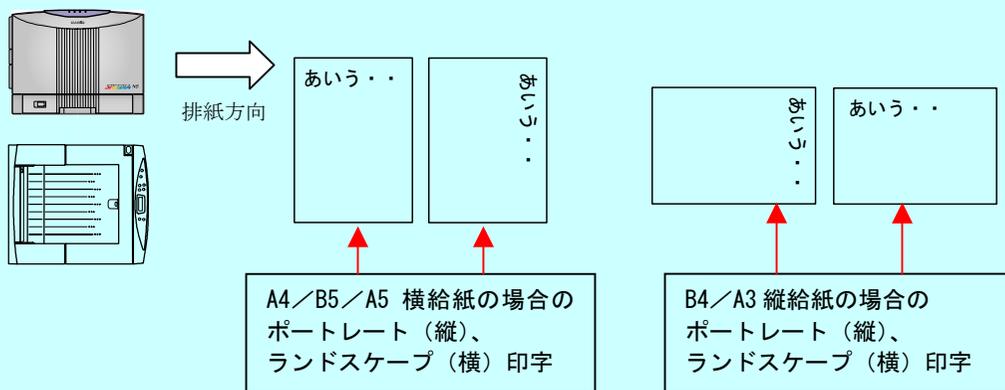
排紙方向

あいう・・

あいう・・

あいう・・

あいう・・

●「パネル設定通り」（N4-614／N4-612：初期値）、「互換」に設定した場合。

＜注意＞N4-612 では「互換」は設定できません。

排紙方向

あいう・・

あいう・・

あいう・・

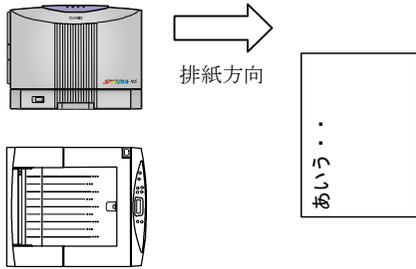
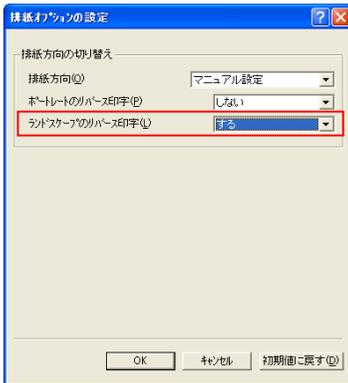
あいう・・

A4／B5／A5 横給紙の場合の
ポートレート（縦）、
ランドスケープ（横）印字

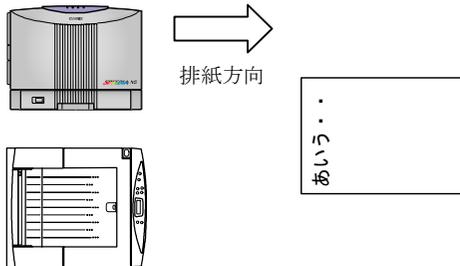
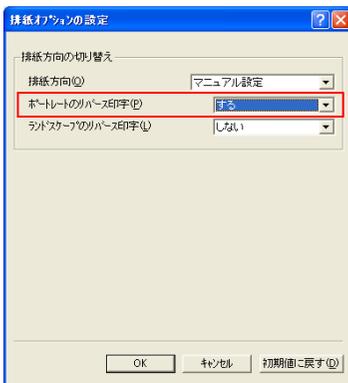
B4／A3 縦給紙の場合の
ポートレート（縦）、
ランドスケープ（横）印字

※上記印刷イメージは、メイントレイ（フェイスダウン）で排紙された印刷物を左右にめくったものです。
（N5300、N5100、N5 は正面向かって右側にたったときに、N4-614／N4-612 は正面にたったときのものです。）

＜参考＞

●A4／B5／A5（横給紙）、ランドスケープ（横）を下記のイメージで排紙したい場合は？

※左記印刷イメージは、メイントレイ（フェイスダウン）で排紙された印刷物を左右にめくったものです。
（N5300／N5100／N5 は正面向かって右側にたったときに、N4-614／N4-612 は正面にたったときのものです。）

※「排紙方向」を「マニュアル設定」に設定し、「ランドスケープのリバース印字」を「する」、もしくは「横給紙のみ」に設定します。

＜注意＞N4-612 は「横給紙のみ」は設定できません。

●B4／A3（縦給紙）、ポートレート（縦）を下記のイメージで排紙したい場合は？

※左記印刷イメージは、メイントレイ（フェイスダウン）で排紙された印刷物を左右にめくったものです。
（N5300／N5100／N5 は正面向かって右側にたったときに、N4-614／N4-612 は正面にたったときのものです。）

※「排紙方向」を「マニュアル設定」に設定し、「ポートレートのリバース印字」を「する」、もしくは「縦給紙のみ」に設定します。

＜注意＞N4-612 は「縦給紙のみ」は設定できません。

３８．カラー／モノクロ混在文書を高速に印刷したい。

利用可能機種	N5300	N5100	N5	N4-614	N4-612

SPEEDIA シリーズでは、カラー／モノクロ混在文書印刷時、印刷速度を落とさずに、カラーモードで高速に印刷することができます。

ここでは次のような構成で作成されている Microsoft Word2000 の１０頁物の文書を、高速に印刷してみましょう。

《ポイント》【基本設定】→【詳細設定】→【プリンタオプション】タブより、「モノクロページのエコノミー印刷」を設定します。

①Word2000 より、「ファイル」→「印刷」をクリックします。プリンタ名で「CASIO SPEEDIA N5300」を選択し、「プロパティ」をクリックします。
【基本設定】タブの画面が起動します。
【詳細設定】をクリックします。

②【プリンタオプション】タブを開きます。
「モノクロページのエコノミー印刷」の項目を設定します。

③「モノクロページのエコノミー印刷」を「しない」に設定します。

④【ＯＫ】ボタンをクリックし、Word2000 より印刷を開始します。

《「モノクロページのエコノミー印刷」とは？》

モノクロ混じりの文書を印刷する際、一々カラー／モノクロを指定しなくてもモノクロページを自動的に判断し、モノクロモードに切り替えて印刷することです。カラーの消耗品消費を抑えることができますが、切替には若干の時間を要します。

■N5300、N5100、N5、N4-614の場合

「パネル設定通り」（初期値）に設定すると？

プリンタ本体の操作パネルの設定（[エコノミー印刷］［エコノミー枚数]）に従います。操作パネルの初期値は、[エコノミー印刷］＝しない、[エコノミー枚数]＝３枚、に設定されていますので、切替の発生しない高速な印刷が可能です。

「しない」に設定すると？

常にカラーモードで印刷するため、高速な印刷が可能です。

「１枚ごと」に設定すると？

用紙１枚ごとにカラー／モノクロを判断し、それぞれのモードに切り替えて印刷します。

「枚数指定通り」に設定すると？

プリンタ本体の操作パネルの［エコノミー枚数］で設定された枚数だけは、モノクロページの印刷であってもカラーモードで印刷します。（初期値＝３枚）

前頁の例では、操作パネルの［エコノミー枚数］を４枚に設定すれば、モードの切替が発生しない（カラーモードで印刷）ため高速に印刷できます。

※操作パネルの設定方法は、プリンタに同梱されている CD-ROM 内の取扱説明書「リファレンスマニュアル」をご覧ください。

■N4-612 の場合

「文書単位」（初期値）に設定すると？

文書単位で、カラー／モノクロを判断してそれぞれのモードに切り替えて印刷します。１文書の印刷中に一度カラーモードになると以降その文書の印刷が終わるまでカラーモードを継続します。モノクロデータは、モノクロモードで印刷しつつ、混在文書ではカラー／モノクロの切り替えが１文書中１回しか発生しないため、印刷速度が稼げます。

「ページ単位」に設定すると？

ページ単位で用紙１枚ごとにカラー／モノクロを判断し、それぞれのモードに切り替えて印刷します。

「しない」に設定すると？

常にカラーモードで印刷するため、高速な印刷が可能です。

【カラー／モノクロ混在文書を印刷するときの最適な設定は？】

★印刷速度を重視する場合は？

→「モノクロページのエコノミー印刷」を【しない】に設定する。

CASIO

プリンタドライバ活用ガイド＜活用編＞
２００４年　３月２３日　第４版発行

カシオ計算機株式会社